

シラバスとは

各教科・科目の大まかな授業計画のことをいいます。みなさんは、事前に、新学期に向けて、このシラバスを使って教科・科目ごとの目標をよく理解し、この一年間を通じての学習内容や評価方法を確認しておきましょう。

新年度始めの授業で、各教科担任から詳しく説明がありますので、必ず持参し、場合によってはメモをとるなどして活用しましょう。また、年度途中でも、授業の進捗の確認や評価方法について見直すなど、1年間を通じて自分の学力向上に役立てましょう。

令和6年度

3年次教科・科目シラバス

もくじ

■ 必修

論理国語（特進）	1～2
論理国語（普通）	3～4
古典探究	5～6
政治・経済	7～8
数学B γ	9～10
地学基礎	11～12
体育Ⅱ（男子）	13～14
体育Ⅱ（女子）	15～16
応用英語 α	17～18
英語コミュニケーションⅡ α （特進）	19～20
英語コミュニケーションⅡ γ （普通）	21～22

■ 選択普通

3A地学基礎	23～24
3A生物基礎 δ	25～26
3B物理 β	27～28
3B生物 β	29～30
3B①簿記応用	31～32
3B①実用国語	33～34
3B①日本史探究 γ Ⅱ	35～36
3B①生涯スポーツ	37～38
3B②保育基礎	39～40
3B②演奏に親しむ	41～42
3B②書道Ⅲ	43～44
3C①国語表現Ⅱ	45～46
3C①情報の表現と管理	47～48
3C①音楽Ⅲ	49～50
3C①色彩に親しむ	51～52
3C①英語会話	53～54
3C①科学と人間生活	55～56
3C②応用英語 β	57～58
3C②PC技術	59～60
3C②生活と福祉	61～62
3C②数学基礎	63～64
3C②時事英語	65～66
3C②文学に親しむ	67～68
3D数学演習 β	69～70
3D①ビジネス総合Ⅱ	71～72
3D①実用数学B	73～74
3D①書に親しむ	75～76
3D①美術Ⅲ	77～78
3D①生涯スポーツ	79～80
3D②フードデザイン	81～82
3D②理科学研究	83～84
3D②音楽Ⅰ	85～86
3D②美術Ⅰ	87～88
3D②書道Ⅰ	89～90

■ 選 択 特 進

3 X 物理 α	91～ 92
3 X 生物 α	93～ 94
3 X 日本史探究 α II	95～ 96
3 X 世界史探究 α II	97～ 98
3 Y①数学III	99～100
3 Y①数学演習 α	101～102
3 Y②数学B	103～104
3 Y②数学C	105～106
3 Y②実用国語	107～108
3 Z 倫理	109～110
3 Z 古典習熟	111～112
3 Z 発展化学	113～114

■ 選 択 合 同

創作国語	115～116
時事問題研究	117～118
数学に親しむ	119～120
理科に親しむ	121～122
器楽基礎	123～124
絵画入門	125～126
漢字仮名交じりの書	127～128
トレーニング	129～130
情報活用	131～132
福祉コミュニケーション	133～134

教科名	国語	講座名	論理国語（特進・3年次）	履修区分	必履修
科目名	論理国語			単位数	2
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を各科目の目標が示すとおり育成することを目指す。				
科目の目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。【知】 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思】 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【態】				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・ 論証するために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【思】	思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ 学習への取り組み方の観察 ・ リフレクションカードの点検

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	相手に応じた適切な表現を吟味しよう。 【1 自己と他者】	・「『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ」の読解を通じ、筆者の発想のしかたや論の展開の特徴を読み取り、筆者の主張をふまえて、自他の関係について考える。 ・相手に応じた適切な表現を選んで書く。	・文章の種類をふまえて内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【思】 ・一般的な解釈と、筆者の解釈の違いを意識しつつ、粘り強く筆者の主張を捉えたり、分かり易く文章化したりしている。【態】	④⑥⑦⑧
5	6	調べたことをレポートにまとめよう。 【8 グローバル化の先へ】	・「世界は、いま『多文化世界』の構築」の読解を通じ、小見出しごとに文章の要旨をとらえ、筆者の主張をつかむ。 ・グローバル時代における文化の多様性の価値を考える。 ・調べたことをレポートにまとめる	・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【思】 ・小見出しの効果に注目し、粘り強く筆者の主張を捉えたり、文章化したりしている。【態】	④⑥⑦
6	8	対比を効果的に用いて論証してみよう。 【2 コミュニケーションの手段】	・「記号のメディアと物理的メディア」の読解を通じ、対比的な概念を的確に捉え、筆者の主張をつかむ。また、コミュニケーションの手段とその特徴について考え方を深める。 ・対比を効果的に用い、特徴を明確にして書く。	・対比関係に注目して、文章の効果的な組み立てや接続のしかたについて理解を深めている。【知】 ・対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【思】 ・対比や具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張を捉えたり、文章化したりしている。【態】	④⑥⑦
7	6	仮説を立てて主張する述べ方について理解を深めよう。 【3 メディアの変容】	・「消費されるスポーツ」の読解を通じて、具体例と筆者の主張との関係を的確に捉える。また、スポーツとメディアの関係についての考えを深める。 ・仮説を立て、主張を支えるための根拠を探して検証する。	・論証するために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【知】 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。【思】 ・具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張を捉えたり、文章化したりしている。【態】	④⑥⑦
8	4	アンケートを実施しその分析結果を根拠に主張してみよう。 【4 言語の探究】	・「人を指す言葉」の読解を通じて、根拠に注目しながら、筆者の主張を読み取る。また、日本語の特徴について考え、言葉に対する理解を深める。 ・アンケートを実施し、調査結果を効果的に用いて文章にまとめる。	・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。【思】 ・積極的に情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めようとしている。【態】	④⑥⑦⑨
9	6	話し合いを捉え直し、意思決定のしくみについて理解を深めよう。 【5 政治と社会】	・「多数決を疑う」の読解を通じ、筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する。また、意思決定のしくみに興味をもち、社会制度のあり方を考える。	・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。【思】 ・筆者の問題意識を把握しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。【態】	④⑥⑦⑧
10	8	具体と抽象の関係に注意して主張をとらえよう。 【6 存在への問い】	・「日常に走る亀裂」の読解を通じ、具体的な説明と抽象論との関係を捉える。また、身体や自己意識に対する認識を深める。	・情報どうしの関係づけのしかたについて理解している。【知】 ・筆者の思考をふまえて、既存の知識や経験を基に自分の考えを深められている。【思】 ・筆者の主張を読み取り、従来のものの見方を積極的に見直す視点を持つようとしている。【態】	④⑥⑦⑧
11	9	日常生活に問いを見出し、意見を述べよう。 【7 環境へのまなざし】	・「リスク社会としての現代」の読解を通じて、概念の定義を押さえ、筆者の問題意識を捉える。また、現代社会が直面するさまざまな課題を意識し、問いを深める。 ・適切な問いを立て、必要な情報を収集し、レポートにまとめる。	・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。【知】 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料をもとに、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。【思】 ・進んで情報を収集・整理し題材を設定するとともに、表現や段落の構造を工夫しながら表現しようとしている。【態】	④⑥⑦⑧⑨
12		自分の価値観で物事を捉え、独自の切り口で考えを述べよう。 【8 歴史と時間】			
1	10	自分の価値観で物事を捉え、独自の切り口で考えを述べよう。 【8 歴史と時間】	・「無常ということ」の読解を通じて、筆者の思索の流れや論の展開のしかたを捉える。また、「美」「歴史」「解釈」などについて、自分の考えを深める。 ・自分で課題を設定し、自由に考えを書く。	・自由に意見を述べるときに求められる切り口（独自性）の重要性について理解を深めている。【知】 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。【思】 ・学習課題に沿って、筆者の思索の流れに注目しつつ、積極的に自分の考えを深めようとしている。【態】	④⑥⑦⑧

教科名	国語	講座名	論理国語（普通・3年次）	履修区分	必履修
科目名	論理国語			単位数	4
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を各科目の目標が示すとおり育成することを目指す。				
科目の目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。【知】 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思】 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【態】				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・ 論証するために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【思】	思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ 学習への取り組み方の観察 ・ リフレクションカードの点検

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	相手に応じた適切な表現を吟味しよう。 【1 自己と他者】	・「『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ」の読解を通じ、筆者の発想のしかたや論の展開の特徴を読み取り、筆者の主張をふまえて、自他の関係について考える。 ・相手に応じた適切な表現を選んで書く。	・文章の種類をふまえ内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【思】 ・一般的な解釈と、筆者の解釈の違いを意識しつつ、粘り強く筆者の主張を捉えたり、分かり易く文章化したりしている。【態】	④⑥⑦⑧
5	12	調べたことをレポートにまとめよう。 【8 グローバル化の先へ】	・「世界は、いま『多文化世界』の構築」の読解を通じ、小見出しごとに文章の要旨をとらえ、筆者の主張をつかむ。 ・グローバル時代における文化の多様性の価値を考える。 ・調べたことをレポートにまとめる	・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【思】 ・小見出しの効果に注目し、粘り強く筆者の主張を捉えたり、文章化したりしている。【態】	④⑥⑦
6	16	対比を効果的に用いて論証してみよう。 【2 コミュニケーションの手段】	・「記号のメディアと物理的メディア」の読解を通じ、対比的な概念を的確に捉え、筆者の主張をつかむ。また、コミュニケーションの手段とその特徴について考え方を深める。 ・対比を効果的に用い、特徴を明確にして書く。	・対比関係に注目して、文章の効果的な組み立てや接続のしかたについて理解を深めている。【知】 ・対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【思】 ・対比や具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張を捉えたり、文章化したりしている。【態】	④⑥⑦
7	12	仮説を立てて主張する述べ方について理解を深めよう。 【3 メディアの変容】	・「消費されるスポーツ」の読解を通じて、具体例と筆者の主張との関係を的確に捉える。また、スポーツとメディアの関係についての考えを深める。 ・仮説を立て、主張を支えるための根拠を探して検証する。	・論証するために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【知】 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。【思】 ・具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張を捉えたり、文章化したりしている。【態】	④⑥⑦
8	8	アンケートを実施しその分析結果を根拠に主張してみよう。 【4 言語の探究】	・「人を指す言葉」の読解を通じて、根拠に注目しながら、筆者の主張を読み取る。また、日本語の特徴について考え、言葉に対する理解を深める。 ・アンケートを実施し、調査結果を効果的に用いて文章にまとめる。	・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。【思】 ・積極的に情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めようとしている。【態】	④⑥⑦⑨
9	12	話し合いを捉え直し、意思決定のしくみについて理解を深めよう。 【5 政治と社会】	・「多数決を疑う」の読解を通じ、筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する。また、意思決定のしくみに興味をもち、社会制度のあり方を考える。	・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。【思】 ・筆者の問題意識を把握しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。【態】	④⑥⑦⑧
10	16	具体と抽象の関係に注意して主張をとらえよう。 【6 存在への問い】	・「日常に走る亀裂」の読解を通じ、具体的な説明と抽象論との関係を捉える。また、身体や自己意識に対する認識を深める。	・情報どうしの関係づけのしかたについて理解している。【知】 ・筆者の思考をふまえて、既存の知識や経験を基に自分の考えを深められている。【思】 ・筆者の主張を読み取り、従来のものの見方を積極的に見直す視点を持つようとしている。【態】	④⑥⑦⑧
11	18	日常生活に問いを見出し、意見を述べよう。 【7 環境へのまなざし】	・「リスク社会としての現代」の読解を通じて、概念の定義を押さえ、筆者の問題意識を捉える。また、現代社会が直面するさまざまな課題を意識し、問いを深める。 ・適切な問いを立て、必要な情報を収集し、レポートにまとめる。	・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。【知】 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料をもとに、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。【思】 ・進んで情報を収集・整理し題材を設定するとともに、表現や段落の構造を工夫しながら表現しようとしている。【態】	④⑥⑦⑧⑨
12		自分の価値観で物事を捉え、独自の切り口で考えを述べよう。 【8 歴史と時間】	・「無常ということ」の読解を通じて、筆者の思索の流れや論の展開のしかたを捉える。また、「美」「歴史」「解釈」などについて、自分の考えを深める。 ・自分で課題を設定し、自由に考えを書く。	・自由に意見を述べるときに求められる切り口（独自性）の重要性について理解を深めている。【知】 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。【思】 ・学習課題に沿って、筆者の思索の流れに注目しつつ、積極的に自分の考えを深めようとしている。【態】	④⑥⑦⑧
1					

教科名	国語	講座名	古典探究（3年次）	履修区分	必修
科目名	古典探究			単位数	2
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を各科目の目標が示すとおり育成することを目指す。				
科目の目標	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。【知】 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思】 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【態】				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【思】	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	・ 学習への取り組み方の観察 ・ リフレクションカードの点検

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	『大鏡』 登場人物に注目して歴史物語を読み取ろう。	・「三船の才」の読解を通じて、藤原公任の和歌に対する評価や当時の漢詩や和歌についての価値観を理解する。	・文語のきまりに対する理解を深め、本文を正確に現代語訳している。【知】 ・本文の構成を理解したうえで、「小倉山…」の和歌が評価された理由を第三者に説明することができる。【思】 ・積極的に登場人物の行動や語り手の心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。【態】	④⑦⑧
5	6	『論語』 複数の思想を読み比べその違いを考えよう。	・「論語」とその他の思想の読み比べ、孔子の思想の特徴について理解を深める。	・訓読のきまりについて理解を深め、本文を正確に現代語訳している。【知】 ・本文の読解を踏まえて、孔子が理想とする政治の特徴を適確にまとめている。【思】 ・孔子が理想とする政治の特徴を他の思想と比較し、学習課題に沿って本文の理解を深めようとしている。【態】	④⑦⑧⑨
6	8	『枕草子』 登場人物の心情に注目して随筆を読み取ろう。	・作者の心情の推移をたどりながら「二月つごもりごろに」を読解する。また、『古本説話集』と読み比べ、作者に対する周囲の評価に対する理解を深める。	・文語のきまりに対する理解を深め、本文を正確に現代語訳している。【知】 ・難題に直面した際の作者の心情の変化を古文特有の表現に注意しながら説明することができる。【思】 ・積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。【態】	④⑦⑧⑨
7	6	『唐物語』 『西京雜記』 古漢比較を通じて古典作品を評価しよう。	・「唐物語」と「西京雜記」を読み比べ、王昭君についての描き方の違いを的確に捉え、古典作品を主体的に評価する。	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【知】 ・『唐物語』と『西京雜記』の差異を全体にわたって整理し、それぞれの文章の特徴を説明している。【思】 ・粘り強く『唐物語』と『西京雜記』の違いを抽出し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。【態】	④⑦⑧⑨
8	4	『源氏物語』 長編物語の特徴を踏まえて源氏物語を読もう。	・「小柴垣のもと」を読み取り、藤壺への思いにも触れることで、少女への特別な思い入れの原因を理解する。	・文語のきまりに対する理解を深め、本文を正確に現代語訳している。【知】 ・光源氏が女子にひかれる理由を理解し、尼君と女房の歌に込められた心情を説明できている。【思】 ・自ら進んで粘り強く根拠立てて内容や和歌の説明に取り組んでいる。【態】	④⑦⑧
9	6	“文章” 唐宋八大家によって書かれた整った文章を読み味わおう。	・漢文における随筆「売油翁」を文章の構成に注意して読み、構成によって主張の伝わり方に及ぼす影響について理解する。	・辞書や巻末資料、典拠となる『莊子』を手掛かりに本文を正確に現代語訳できる。【知】 ・『莊子』の二つの話を踏まえて、本文末尾の一文が述べようとしている内容を適確に指摘できている。【思】 ・「売油翁」の末尾一文の意味について、グループでの話し合いにおいて積極的に意見を発表している。【態】	④⑦⑧⑨
10	8	“評論” 古文によって書かれた評論を読み、その主張をとらえよう。	・最古の物語評論と言われる『無名草子』「清少納言と紫式部」の読解を通じて、人物関係やそれぞれの心情、それぞれの作品についてどのように書かれていたかを整理し、この文章が書かれた意図を考える。	・文語のきまりに対する理解を深め、本文を正確に現代語訳している。【知】 ・本文の展開を整理し、描かれている清少納言と紫式部の人物像や作品に対する評価などを説明できている。【思】 ・積極的に本文の内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。【態】	④⑦⑧⑨
11	6	演習	「大学入学共通テスト演習」 ・さまざまな古文・漢文の文章や、比較する問題形式などにふれながら、古典分野の読解法に習熟する。	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【知】 ・これまでに身に付けてきた知識・技能を活用し、初めて読む文量のある文章であっても内容を理解し、適切に判断したり表現したりできる。【思】 ・学習の成果を客観的に振り返り、必要に応じて基礎的な知識技能の定着に立ち返るなどして読解力を高めようとしている。	①⑥
12	6				
1	4				

教科名	公民	講座名	政治・経済	履修区分	必修
科目名	政治・経済			単位数	2
教科の目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	・定期考査 ・レポート・ワークシート・リフレクションシート等の成果物評価 ・ポートフォリオ評価 ・ループリック評価
【思】	思考・判断・表現	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	・定期考査 ・レポート・ワークシート・リフレクションシート等の成果物評価 ・ポートフォリオ評価 ・ループリック評価
【態】	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業の取り組み ・レポート・ワークシート・リフレクションシート等の提出状況 ・ポートフォリオ評価 ・ループリック評価

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	第1編第1章第1節 日本国憲法と現代政治のあり方	政治と法の意義と機能, 基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義 ■諸課題へのアプローチ「現代政治のあり方」	・政治の特質や政治制度の課題について理解している。【知】・現代の政治制度がかかえている課題について自分の考えを説明している。【思】・政治の役割を理解し、望ましい政治のあり方について学ぼうとする意欲がみられる。【主】	③④⑥⑦ ⑧⑨
5	6	第1編第1章第2節 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方	地方自治制度、政党政治と選挙 ■諸課題へのアプローチ「主権者としての政治参加のあり方」	・地方自治制度や選挙制度の課題について理解している。【知】・地方や選挙がかかえている課題について自分の考えを説明している。【思】・地方自治や選挙の役割を理解し、望ましい社会のあり方について学ぼうとする意欲がみられる。【主】	②③④⑤ ⑦⑨
6	8	第1編第1章第3節 市場経済の機能と限界	経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動 ■諸課題へのアプローチ「外部不経済の内部化の方法」	・経済の役割や市場のしくみについて理解している。【知】・資本主義や市場がかかえている課題について自分の考えを説明している。【思】・経済の役割や市場のしくみを理解し、望ましい経済のあり方について学ぼうとする意欲がみられる。【主】	③④⑥⑦ ⑧⑨
7	6	第4節 持続可能な財政および租税のあり方 第5節 金融を通じた経済活動の活性化	財政のしくみと租税の意義 ■諸課題へのアプローチ「持続可能な財政を実現するための税制のあり方」金融のしくみとはたらき ■諸課題へのアプローチ「資金の流れと起業における資金調達のあるあり方」	・財政の役割や租税の意義について理解している。【知】・財政や租税がかかえている課題について自分の考えを説明している。【思】・財政の役割や租税の意義を理解し、望ましい財政や税制のあり方について学ぼうとする意欲がみられる。【主】	③④⑥⑦ ⑧⑨
8	4	第6節 経済活動と福祉の向上	日本経済の変化と中小企業・農業問題、労使関係と労働問題、社会保障制度と福祉のあり方 ■諸課題へのアプローチ「格差の理由とその対策」	・日本経済の変容やその課題について理解している。【知】・日本経済がかかえている課題について自分の考えを説明している。【思】・日本経済の変容やその課題を理解し、望ましい日本経済やそのあり方について学ぼうとする意欲がみられる。【主】	③④⑥⑦ ⑧⑨
9	6	第1編第2章現代日本の諸課題の探究	[選択] 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入・歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現、防災と安全・安心な社会の実現	・現代日本がかかえている課題について理解している。【知】・現代日本がかかえている課題について自分の考えを説明している。【思】・現代日本その課題を理解し、望ましい日本経済やそのあり方について学ぼうとする意欲がみられる。【主】	①②③④ ⑥⑩
10	8	第2編第1章第1節 国際法の果たす役割 第2節国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割	国際社会の変遷、国際法の意義、国際機構の役割、国際紛争と軍縮への取り組み ■諸課題へのアプローチ「日本の国際貢献のあり方」	・日本経済の変容やその課題について理解している。【知】・日本経済がかかえている課題について自分の考えを説明している。【思】・現代日本がかかえている課題を理解し、望ましい社会のあり方について学ぼうとする意欲がみられる。【主】	③④⑥⑦ ⑧⑨
11	6	第2編第2章第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質	貿易の現状と意義、国民経済と国際収支、為替相場の変動、国際協調と国際経済機関の役割 ■諸課題へのアプローチ「国際経済の現状と課題」	・貿易のしくみや外国為替について理解している。【知】・国際経済がかかえている課題について自分の考えを説明している。【思】・国際経済の課題を理解し、望ましい国際経済やそのあり方について学ぼうとする意欲がみられる。【主】	③④⑥⑦ ⑧⑨
12	6	第2編第2章第4節 国際経済において求められる日本の役割	国際経済における日本の地位と国際協力 ■諸課題へのアプローチ「国際経済の安定と成長に向けた日本の役割」	・国際経済における日本の役割やその課題について理解している。【知】・国際経済において日本がかかえている課題について自分の考えを説明している。【思】・国際経済における日本の役割やその課題を理解し、望ましい日本の役割やあり方について学ぼうとする意欲がみられる。【主】	③④⑥⑦ ⑧⑨
1	4	第2編第2章 国際社会の諸課題の探究	[選択] グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長市場、人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくり	・国際社会の諸課題について理解している。【知】・国際社会がかかえている課題について自分の考えを説明している。【思】・国際社会の課題を理解し、望ましい国際協調について学ぼうとする意欲がみられる。【主】	①②③④ ⑥⑩
2	6				
3	4				

教科名	数学	講座名	数学B γ	履修区分	普通必須
科目名	数学B			単位数	2
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	数列、確率分布と統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・数学における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。	・定期考査 ・小テスト ・問題集の取り組み
【思】	思考・判断・表現	・事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考え方を身に付けている。	・定期考査 ・小テスト ・問題集の取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・数学の論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	・授業への積極的な参加 ・問題集の取り組み

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	数列	等差数列と等比数列	・等差数列・等比数列を理解し一般項を求めることができる【知】 ・等差数列の和を理解し求めることができる【思】 ・等比数列の和を理解し求めることができる。【知】 ・数列の一般項や和を理解しそれらを事象の考察に活用することができる【思】	①②④⑥⑦ ⑧
5	6				
6	8		いろいろな数列	・いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し考察に活用することができる【知】 【態】	
7	6				
8	4		漸化式と数学的帰納法	・漸化式で表された数列について理解し、一般項を求めることができる【思】 ・数学的帰納法について理解し、それを用いて簡単な命題を証明することができる【思】【態】	
9	6				
10	8	確率分布と統計的な推測	確率分布	・確率変数を理解して、平均、Bンさん、標準偏差を求めることができる。【知】 ・確率変数を利用して、二項分布等の分布を求めることができる【思】	①②④⑥⑦ ⑧
11	6				
12	6		正規分布	・確率変数を利用して、正規分布を求めることができる。【知】	
1	4		統計的な推測	・確率変数を利用して、さまざま資料について統計的な推測ができる。【思】【態】	

教科名	理科	講座名	地学基礎	履修区分	3A
科目名	地学			単位数	2
教科の目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付け、観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	授業での評価 ルーブリック 小テスト
【思】	思考・判断・表現	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	授業での評価 ルーブリック 小テスト
【態】	主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中でとらえるなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	授業での評価 ルーブリック 小テスト

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	1編 私たちの大地	1章 大地とその動き	・地球の形状を科学史上の発見を通して理解する【知】 ・発見されている事実や身のまわりの自然から、地球の内部構造について理解する。【思】 ・日本列島の特殊性と地震や火山という自然現象を結びつけ、プレートテクトニクスという地球の活動に関心を持つ【関】	①④⑥⑦ ⑧⑨
5	6		2章 火山活動と地震		①④⑥⑦ ⑧⑨
6	8	2編 私たちの空と海	1章 地球の熱収支（5h）	・地球の大気現象である天気の変化について、日常の観察を通して知り、理解する。【関・思・観】 ・大気の活動に関する実験、実習を通して身のまわりの気象現象がどのように起こっているか理解し知識を身につける。【観・知】 ・日本の天気についてその特徴や変化の傾向を知る。【知】 ・地域的な気象の特徴について科学的な	①④⑤⑥ ⑦⑧⑨
7	6		2章 大気と海水の運動		①④⑤⑥ ⑦⑧⑨
8	4	3編 私たちの宇宙の誕生	1章 宇宙の構造と進化	・太陽系の基本構造や太陽の活動について理解する【知】 ・太陽の進化の過程について知る【関】 ・環境や災害について知る。【思】	①④⑦⑨
9	6	4編 私たちの地球の歴史	1章 地層と化石の観察	・地層の形成から地球の歴史、地質時代を総合的に取り扱い理解する。【思・知】 ・化石についてその形成から発見、地質時代の区分に関わる意味を知る。【知】 ・生命の誕生と進化、絶滅などの歴史を通して地球環境に興味をもつ。【関】	①④⑥⑦ ⑧⑨
10	8		2章 古生物の変遷と地球環境		①④⑥⑦ ⑧⑨
11	6	5編 地球に生きる私たち	1章 日本の自然の恵みと防災	・環境や災害について知る。【思】	①④⑤⑦
12	6		終1章 地球環境の考え方 終2章 自然環境の変動		①④⑤⑦ ⑧⑨
1	4		終3章 これからの地球環境		①④⑤⑦ ⑧⑨

教科名	保健体育	講座名	体育（3年次）	履修区分	必修
科目名	体育（男子）			単位数	2
教科の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	・生涯にわたってスポーツに取り組む姿勢を身につける。 ・自己や集団の課題に応じてゲームができる知識、技能を身に付ける。 ・自分たちで練習や試合の企画・運営ができるようになる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【人】	主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の中で、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を持つ。健康・安全を確保して運動に取り組んでいる。	学習状況 課題レポート
【思】	思考力・判断力・表現力	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、その解決に向けて深く考え判断している。また、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	学習状況 課題レポート
【知技】	知識・技能	合理的、計画的な運動の方法や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	技能テスト 学習状況 課題レポート

●学習計画

月	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	体づくり運動	自己や仲間の課題の応じた運動を継続するための取り組みを工夫できるようにする。	・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている ・自己や仲間のねらいや体力の程度に応じて適切に運動を行おうとしている	①②④
5 6	陸上競技	走種目、跳投（種目選択）種目において、自己の課題を見つけ、工夫して解決することができるようにする。	・全力を尽くして競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている ・自他の危険を回避するための活動の仕方を選んでいる	②④⑨
6 7	選択Ⅰ 羽球・卓球	基本技術の習得を目指すとともに、ルール・マナーを学習して試合を運営する態度・能力を養う。	・フェアなプレイを大切にしようとしている ・空間を作り出すなどの攻防を展開しようとしている ・競技会の仕方について学習した具体例を挙げている	②⑥⑧
8 9	選択Ⅱ サッカー・ソフトボール	チームや自己の能力に応じてゲームを行い、自己の役割を理解して、練習や試合の企画・運営ができるようにする。	・球技の学習に主体的に取り組もうとしている ・合意形成に貢献しようとしている ・健康や安全を確保維持するために適切な活動の仕方えお選んでいる	④⑥⑩
10 11	バスケットボール	チームや自己に応じた課題を見つけ、工夫して解決する。ルール・マナーを守り、協力して試合を運営する態度・能力を養う。	・バスケットボールの学習に主体的に取り組もうとしている ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている	④⑦⑨
12 1	バレーボール	チームや自己に応じた課題を見つけ、工夫して解決する。ルール・マナーを守り、協力して試合を運営する態度・能力を養う。	・チームにおける自分の役割を果たし、協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとしている ・技能の段階に応じて相手との攻防にあった作戦で練習やゲームをすることができる	①⑧⑩
年間を通して	体育理論	体ほぐしの意義と体力の高め方を学び、生涯を通して積極的に運動に親しむ態度・能力を養う。	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、学習に主体的に取り組もうとしている	③⑤

教科名	保健体育	講座名	体育（3年次）	履修区分	必修
科目名	体育（女子）			単位数	2
教科の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	・生涯にわたってスポーツに取り組む姿勢を身につける。 ・自己や集団の課題に応じてゲームができる知識、技能を身に付ける。 ・自分たちで練習や試合の企画・運営ができるようになる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【人】	主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の中で、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を持つ。健康・安全を確保して運動に取り組んでいる。	学習状況 課題レポート
【思】	思考力・判断力・表現力	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、その解決に向けて深く考え判断している。また、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	学習状況 課題レポート
【知技】	知識・技能	合理的、計画的な運動の方法や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	技能テスト 学習状況 課題レポート

●学習計画

月	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	体づくり運動	自己や仲間の課題の応じた運動を継続するための取り組みを工夫できるようにする。	・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている ・自己や仲間のねらいや体力の程度に応じて適切に運動を行おうとしている	①②④
5 6	陸上競技	走種目、跳投（種目選択）種目において、自己の課題を見つけ、工夫して解決することができるようにする。	・全力を尽くして競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている ・自他の危険を回避するための活動の仕方を選んでいる	②④⑨
6 7	選択Ⅰ テニス ソフトボール	チームや自己の能力に応じてゲームを行い、自己の役割を理解して、練習や試合の企画・運営ができるようにする。	・球技の学習に主体的に取り組もうとしている ・合意形成に貢献しようとしている ・健康や安全を確保維持するために適切な活動の仕方を選んでいる	②⑥⑧
8 9	選択Ⅱ 羽球・卓球	基本技術の習得を目指すとともに、ルール・マナーを学習して試合を運営する態度・能力を養う。	・フェアなプレイを大切にしようとしている ・空間を作り出すなどの攻防を展開しようとしている ・競技会の仕方について学習した具体例を挙げている	④⑥⑩
10 11	バレーボール	チームや自己に応じた課題を見つけ、工夫して解決する。ルール・マナーを守り、協力して試合を運営する態度・能力を養う。	・チームにおける自分の役割を果たし、協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとしている ・技能の段階に応じて相手との攻防にあった作戦で練習やゲームをすることができる	①⑧⑩
12 1	バスケットボール	チームや自己に応じた課題を見つけ、工夫して解決する。ルール・マナーを守り、協力して試合を運営する態度・能力を養う。	・バスケットボールの学習に主体的に取り組もうとしている ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている	④⑦⑨
年間を通して	体育理論	体ほぐしの意義と体力の高め方を学び、生涯を通して積極的に運動に親しむ態度・能力を養う。	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、学習に主体的に取り組もうとしている	③⑤

教科名	外国語	講座名	応用英語 α	履修区分	特進
科目名	応用英語			単位数	2
教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどの確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。				
科目の目標	日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話や文章の展開や話し手または書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で論理性に注意して詳しく話して伝え合ったりすることができる。 3. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	○課題テスト及び定期考査
【思】	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身につけている。	○課題テスト及び定期考査 ○パフォーマンステスト
【態】	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。	○課題テスト等に対する取り組む姿勢と結果 ○活動の観察

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力	
4	6	1・2	人物・伝記 文化・血液型	[知識・技能]言語材料となっている文法事項の理解・運用ができていますか。 [思考・判断・表現] 単元の題材に対する理解ができていますか。 単元の題材に関連する情報を収集、報告することができる、またはそれに対する自分の意見を表現できるかどうか。 [主体的] 提示された課題に対する取り組み・内容の深さ	①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
5	6	3・4	心理 科学・食品		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
6	8	5・6	社会・環境 文明・歴史		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
7	6	7・8	健康 生物		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
8	4	9	科学・技術		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
9	6	10・11	コミュニケーション・心理 言語・文化		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
10	8	12・13・14	社会・移民問題 社会・時間 健康・友情	[知識・技能]言語材料となっている文法事項の理解・運用ができていますか。 [思考・判断・表現] 単元の題材に対する理解ができていますか。 単元の題材に関連する情報を収集、報告することができる、またはそれに対する自分の意見を表現できるかどうか。 [主体的] 提示された課題に対する取り組み・内容の深さ	①②③⑥ ⑨⑩	
11	6	15・16・17	統計学 国際理解 社会・育児		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
12	6	18・19	教育・家庭 言語		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
1	4	20	医学		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
2						
3						

教科名	外国語	講座名	英語コミュニケーションⅡ α（特進）	履修区分	特進必修
科目名	英語コミュニケーションⅡ			単位数	4
教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどの確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。				
科目の目標	日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話や文章の展開や話し手または書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で論理性に注意して詳しく話して伝え合ったりすることができる。 3. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	○課題テスト及び定期考査 ○活動の観察
【思】	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身につけている。	○課題テスト及び定期考査 ○活動の観察 ○パフォーマンステストまたはエッセイライティング
【態】	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。	○課題テスト等に対する取り組む姿勢と結果 ○活動の観察 ○他者の表現活動に対する姿勢の観察

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	問題集の長文問題に取り組む。 Lesson8 Powdered Natto	短文読解、資料・短文読解、 随筆的な文章の読解 リスニング問題	[知識] ・英文を読み、その内容を正しく理解することができる。 ・英文を聞き、その内容を正しく理解することができる。	①②③④ ⑦⑧
5	12	問題集の長文問題に取り組む。	説明的な文章の読解、伝記的な文用の読解、説明的な文章の読解 リスニング問題	[思考] ・語彙や正しい語法の知識をもとに、自分の考えを適切な表現で話したり書いたりすることができる。	
6	16	問題集の長文問題に取り組む。 Lesson9 Flying after her dreams	短文読解、資料・短文読解、 随筆的な文章の読解 リスニング問題	[態度] ・積極的に授業に参加しようとしている。 ・テーマに対する調べ学習に積極的に取り組むことができる。	
7	12	問題集の長文問題に取り組む。	説明的な文章の読解、伝記的な文用の読解、説明的な文章の読解 リスニング問題	前期中間考査 6月5日～6月7日	
8	8	問題集の長文問題に取り組む。	短文読解、資料・短文読解、 随筆的な文章の読解 リスニング問題		
9	12	問題集の長文問題に取り組む。	説明的な文章の読解、伝記的な文用の読解、説明的な文章の読解 リスニング問題	前期期末考査 9月3日～9月6日	
10	16	問題集の長文問題に取り組む。 Lesson10 Humans and Robots	短文読解、資料・短文読解、 随筆的な文章の読解 リスニング問題		
11	12	問題集の長文問題に取り組む。	説明的な文章の読解、伝記的な文用の読解、説明的な文章の読解 リスニング問題	後期中間考査 11月13日～11月15日	
12	12	問題集の長文問題に取り組む。	短文読解、資料・短文読解、 随筆的な文章の読解 リスニング問題		
1	8	問題集の長文問題に取り組む。	説明的な文章の読解、伝記的な文用の読解、説明的な文章の読解 リスニング問題	後期期末考査 1月29日～1月31日	

教科名	外国語	講座名	英語コミュニケーションⅡ γ	履修区分	普通必修
科目名	英語コミュニケーションⅡ			単位数	3
教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどの確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。				
科目の目標	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	○課題テスト及び定期考査
【思】	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身につけている。	○課題テスト及び定期考査 ○パフォーマンステスト
【態】	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。	○課題テスト等に対する取り組む姿勢と結果 ○活動の観察 ○グループ学習の発表内容と意見を聞く態度

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	9	オリエンテーション Lesson5 Design for Connecting Society: Braille Neue	〔題材内容〕ユニバーサルデザイン のフォント、ブレイル ノイエ 〔言語材料〕助動詞＋受け 身, S+V+O〔if節〕 〔言語の働き〕説明, 例示, 提案	[知識・技能]言語材料となっ ている文法事項の理解・運 用ができているかどうか。 [思考・判断・表現] 単元の題材に対する理解が できているか。 単元の題材に関連する情 報を収集、報告することが できる、またはそれに対 する自分の意見を表現で きるかどうか。	①②③④ ⑥⑦⑧⑨ ⑩
5	9				
6	12	Lesson 6 New Banknotes	〔題材内容〕キャッシュレ ス社会 〔言語材料〕It+is+said+th at節, 形式目的語itとtha t節 〔言語の働き〕伝聞, 説 明	[主体的] 提示された課題に対する 取り組み・内容の深さ	①②③⑥ ⑨⑩
7	9				
8	6	Lesson 7 Being Different Is Beautiful	〔題材内容〕色の心理的 効果 〔言語材料〕関係代名詞 (所有格) 〔言語の働き〕説明	[主体的] 提示された課題に対する 取り組み・内容の深さ	①②③④ ⑥⑦⑧⑨ ⑩
9	9	Lesson8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem	〔題材内容〕納豆パウダ ーの利点について 〔言語材料〕強調構文 〔言語の働き〕強調		
10	12	Lesson9 Flying after Her Dreams	〔題材内容〕1900年頃 のアメリカの女性の就 労について 〔言語材料〕譲歩を表す 副詞節, 仮定法過去完 了 〔言語の働き〕譲歩、事 実に反することの表現	[知識・技能]言語材料とな っている文法事項の理 解・運用ができている かどうか。 [思考・判断・表現] 単元の題材に対する理 解ができているか。 単元の題材に関連する 情報を収集、報告する ことができる、または それに対する自分の意 見を表現できるかど うか。	①②③⑥ ⑨⑩
11	9				
12	9	Lesson10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	〔題材内容〕生活に役 立つロボット 〔言語材料〕過去完了 進行形, be+to不定詞 〔言語の働き〕説明、 予定・義務・可能	[主体的] 提示された課題に対 する取り組み・内容 の深さ	①②③④ ⑥⑦⑧⑨ ⑩
1	6				
2					
3					

教科名	理科	講座名	地学基礎	履修区分	3A
科目名	地学基礎			単位数	2
教科の目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付け、観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	授業での評価 ルーブリック 小テスト
【思】	思考・判断・表現	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	授業での評価 ルーブリック 小テスト
【態】	主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中でとらえるなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	授業での評価 ルーブリック 小テスト

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	1 編 私たちの大地	1 章 大地とその動き	・地球の形状を科学史上の発見を通して理解する【知】 ・発見されている事実や身のまわりの自然から、地球の内部構造について理解する。【思】 ・日本列島の特殊性と地震や火山という自然現象を結びつけ、プレートテクトニクスという地球の活動に関心を持つ【関】	①④⑥⑦ ⑧⑨
5	6		2 章 火山活動と地震		①④⑥⑦ ⑧⑨
6	8	2 編 私たちの空と海	1 章 地球の熱収支（5 h）	・地球の大気現象である天気の変化について、日常の観察を通して知り、理解する。【関・思・観】 ・大気の活動に関する実験、実習を通して身のまわりの気象現象がどのように起こっているか理解し知識を身につける。【観・知】 ・日本の天気についてその特徴や変化の傾向を知る。【知】 ・地域的な気象の特徴について科学的な	①④⑤⑥ ⑦⑧⑨
7	6		2 章 大気と海水の運動		①④⑤⑥ ⑦⑧⑨
8	4	3 編 私たちの宇宙の誕生	1 章 宇宙の構造と進化	・太陽系の基本構造や太陽の活動について理解する【知】 ・太陽の進化の過程について知る【関】 ・環境や災害について知る。【思】	①④⑦⑨
9	6	4 編 私たちの地球の歴史	1 章 地層と化石の観察	・地層の形成から地球の歴史、地質時代を総合的に取り扱い理解する。【思・知】 ・化石についてその形成から発見、地質時代の区分に関わる意味を知る。【知】 ・生命の誕生と進化、絶滅などの歴史を通して地球環境に興味をもつ。【関】	①④⑥⑦ ⑧⑨
10	8		2 章 古生物の変遷と地球環境		①④⑥⑦ ⑧⑨
11	6	5 編 地球に生きる私たち	1 章 日本の自然の恵みと防災	・環境や災害について知る。【思】	①④⑤⑦
12	6		終 1 章 地球環境の考え方 終 2 章 自然環境の変動		①④⑤⑦ ⑧⑨
1	4		終 3 章 これからの地球環境		①④⑤⑦ ⑧⑨
2	6				
3	4				

教科名	理科	講座名	生物基礎 δ	履修区分	普通選択 3 A
科目名	生物基礎			単位数	2
教科の目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、 目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	定期考査の知識・理解を問う問題（4回）
【思】	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	定期考査の思考・判断・表現を問う問題（4回）
【態】	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	実験に取り組む態度レポート 授業に取り組む態度レポート

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	生物の特徴	生物の共通性と多様性	人間も生物であることを鑑みながら、多様な生物の共通性や多様性を理解することができる。【関】【知】	⑦⑨
5	6		細胞とエネルギー	生物の最小単位である細胞の働きや構造を理解するとともに有機的に機能していることを考えることができる。【思】【知】	⑦⑨
6	8	遺伝子とその働き	遺伝情報とDNA	DNAの存在が遺伝という子孫に情報を伝えることを理解することができる。【思】【知】	⑦⑨⑩
7	6		遺伝情報の分配	細胞分裂の本質を理解し、核分裂が遺伝情報を分配することに繋がる事を理解できる。【観】	⑦⑨
8	4		遺伝情報とタンパク質の合成	遺伝子とタンパク質の繋がりを理解し、生物の主要な成分であるタンパク質に関して興味を持って調べられる。【関】	⑦⑨
9	6	生物の体内環境とその維持	体内環境	体液の存在が体内環境そのものであることを理解し、外部の環境との違いを理解できる。	③⑥⑦⑨
10	8		体内環境と維持のしくみ	内臓が体液の正常化や維持を目的に存在していることを理解し、自らの健康を理解できる。【関】【知】	③⑥⑦⑨
11	6		免疫	生体防御の仕組みを理解し、日常生活の健康管理や維持を意識することができる。【関】【知】	③⑥⑦⑨
12	6	生物の多様性と生態系	植生と遷移	動物と植物の違いについてしっかりと理解し、植物に必要な要素について考えることができる。【思】【知】	⑤⑦⑨
1	4		気候とバイオーム	気候が植物の生息に密接に関わっていることを理解し、身の回りの生物の生息条件について考えられる。【思】【観】【知】	⑤⑦⑨
2	6		生態系と物質循環	物質としての生物を捕らえさせ、特に炭素等の循環について考えられる。【思】【知】	⑦⑨
3	4		生態系のバランスと保全	生態系の保全に自らの意思で積極的に活動できる基盤が作られているか。【関】【知】	③④⑦⑧⑨

教科名	理科	講座名	物理	履修区分	3 B
科目名	物理			単位数	4
教科の目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
科目の目標	基礎内容だけでなく、発展的内容にも触れながら物理学の原理・法則を学習し、実験・観察を行うことで、自然現象を物理学的な観点で思考・解析・探究する。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察、実験を行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	①自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているかについて、発言や記述の内容、ペーパーテスト等から状況を把握する。 ②観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理、資料の活用の仕方などを身に付けているかについて、行動の観察や記述の内容、パフォーマンステスト、ペーパーテストなどから状況を把握する。
【思】	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を解釈し表現するなど、科学的に探究する過程において思考・判断・表現しているかを、発言や記述の内容、ペーパーテストなどから状況を把握する。
【態】	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているかを、発言や記述の内容、行動の観察などから状況を把握する。

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	力と運動	・平面内の運動・剛体・運動量の保存 ・円運動と万有引力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。【思】 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。【知】	⑥⑦⑨
5	12				
6	16	熱と気体	・気体のエネルギーと状態変化	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。【知】	⑥⑦⑨
7	12	波	・正弦波 ・ドップラー ・光波	観察, 実験を行い, それらの過程や結果を的確に記録, 整理し, 自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。【観】	⑥⑦⑨
8	8				
9	12	電気と磁気	・電場・電流 ・電流と磁場・電磁誘導と交流	自然の事物・現象の中に問題を見いだし, 探究する過程を通して, 事象を科学的に考察し, 導き出した考えを的確に表現している。【思】 自然の事物・現象について, 基本的な概念や原理・法則を理解し, 知識を身に付けている。【知】	⑥⑦⑨
10	16				
11	12	原子	・電子と光 ・原子と原子核	自然の事物・現象の中に問題を見いだし, 探究する過程を通して, 事象を科学的に考察し, 導き出した考えを的確に表現している。【思】 自然の事物・現象について, 基本的な概念や原理・法則を理解し, 知識を身に付けている。【知】	①②③
12	12				
1	8	総合演習	・問題演習	自然の事物・現象について, 基本的な概念や原理・法則を理解し, 知識を身に付けている。【知】	⑥⑦⑨
2	12				
3	8				

教科名	理科	講座名	生物 β	履修区分	単位数
科目名	生物			単位数	4
教科の目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、 目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
科目の目標	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	ルーブリック 定期考査
【思】	思考・判断・表現	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	授業への取り組み ルーブリック 定期考査
【態】	主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。	授業への取り組み ルーブリック 定期考査

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	生物の進化	・生命の起源と細胞の進化 ・遺伝子の変化と進化の仕組み ・生物の系統と進化	・生命の起源に関する考えを理解するとともに、細胞の進化を地球環境の変化と関連付けて理解している。【知・態】 ・突然変異と生物の形質の変化との関係を理解している。また、実験などを通して、遺伝子の組合せが変化することや、遺伝子頻度が変化する要因を理解している。【知・思・態】 ・生物の系統と塩基配列やアミノ酸配列との関係を理解する。また、人類の系統と進化を形態的特徴などと関連付けて理解している。【知・態】	①②⑦⑧
5	12				
6	16	生命現象と物質	・細胞と分子 ・代謝	・細胞を構成する物質を細胞の機能と関連付けて理解している。また、実験などを通して、タンパク質の機能を生命現象と関連付けて理解している。【知・思・態】 ・呼吸や光合成をエネルギーの流れと関連付けて理解している。【知・思・態】	①②⑦
7	12				
8	8	遺伝情報の発現と発生	・遺伝情報とその発現 ・発生と遺伝子発現 ・遺伝子を扱う技術	・DNAの複製の仕組み、遺伝子の発現の仕組みを理解している。【知・態】 ・発生と遺伝子発現についての観察、実験などを通して、遺伝子の発現が調節されていることや転写の調節をそれに関わるタンパク質と関連付けて理解している。【知・思・態】 ・遺伝子を扱う技術について、その原理と有用性を理解している。【知・態】	①②③⑦
9	12				
10	16				
11	12	生物の環境応答	・動物の反応と行動 ・植物の環境応答	・外界の刺激を受容し神経系を介して反応する仕組みを、細胞の特性と関連付けて理解している。また、動物の反応と行動についての観察、実験などを通して、行動を神経系の働きと関連付けて理解している。【知・思・態】 ・植物の環境応答についての観察、実験などを通して、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを理解している。【知・思・態】	①②③⑥⑦⑨
12	12				
1	8	生態と環境	・個体群と生物群集 ・生態系	・個体群内の相互作用についての観察、実験などを行通して、個体群が維持される仕組みや個体間の関係性及び生物群集が維持される仕組みや個体群間の関係性を理解している。【知・思・態】 ・生態系についての観察、実験などを通して、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連付けて理解している。また、人間生活が生態系に及ぼす影響を理解する。【知・思・態】	①④⑤⑦
2	12				
3	8				

教科名	商業	講座名	簿記応用	履修区分	普通選択 3 B
科目名	簿記			単位数	4
教科の目標	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的に、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。				
科目の目標	簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に処理するとともに、簿記一巡の手続きに関する内容について理解している。	・ 定期考査 ・ 検定試験への取り組み
【思】	思考・判断・表現	いろいろな処理法や記帳法などについて、なぜそのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、その成果を表現するとともに、創意工夫する能力を身につけている。	・ 定期考査 ・ 検定試験への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する実践的な態度を身につけている。	・ 授業態度 ・ 授業振り返りシート ・ 課題提出状況

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	取引の記帳 会計帳簿と 帳簿組織 伝票の起票・集計	現金過不足・当座借越 受取手形・支払手形 手形貸付金・手形借入金 営業外受取手形 営業外支払手形 受取商品券 資本の引き出し 個人企業の税金 有価証券 固定資産の売却 クレジット売掛金 電子記録債権・債務	簿記の意味・目的や、資産・負債・資本・収益・費用および損益計算書・貸借対照表の作成に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。【知・思・態】 なぜ、帳簿をつけるのか、勘定を設けるのか、資本を収益と費用に分けるのかなどについて考えている。【知・思】 総勘定元帳の各勘定と補助簿および補助元帳の関係性を理解し、正しく記帳できる。【知・思】 取引の時点を正しく把握し、過去の取引や将来起こる取引を想像できる。【思・知】 簿記一巡の手続きに関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。【態】 取引を正しく分解し、正確な起票と集計及び転記をすることが出来る。【知・	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩
5	12		現金出納帳 当座預金出納帳 小口現金出納帳 仕入帳・売上帳 商品有高帳 売掛金元帳・買掛金元帳 手形記入帳		
6	16		入金伝票・出金伝票 振替伝票の起票 伝票の集計と転記		
7	12				
8	8				
9	12	本支店会計 決算 株式会社の記帳	本支店間の取引 本支店間の財務諸表の合併 支店相互間の取引	各取引の処理方法・記帳方法・計算方法を理解している。【知】 未達取引や本支店の取引を理解し本支店会計の仕組みを他者に説明することが出来る。【知・思】 繰り延べと見越しの意味を理解し他者に説明することが出来る。【知・思】 決算整理を用いて、適切な決算書を作成することが出来る。【知・思】 双方向の仕訳処理を正しく示すことが出来る。【思】 確定申告の意味を理解し、正しく記帳できる。【技・知】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩
10	16		費用の繰り延べと見越し 収益の繰り延べと見越し 有価証券の評価 減価償却（間接法） 印紙・切手の未使用処理 精算表 帳簿決算 損益計算書 貸借対照表		
11	12		株式会社の設立 株式の発行 剰余金の配当及び処分 株式会社の税金		
12	12				
1	8	総合演習	検定模擬問題	全商検定問題に取り組む。 【知・思・態】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩

教科名	国語	講座名	実用国語	履修区分	普通選択3B①
科目名	実用国語			単位数	2
教科の目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。				
科目の目標	これまでの学習で培った国語の知識・技能や思考・判断・表現礎に、様々な情報を適切に判断し、筋道立てて物事について考え、効果的に表現する能力を伸ばし、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけている。 国語の知識や技能を使って、適切に表現することができる。	・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【思】	思考・判断・表現	目的や場面に応じて、効果的に話したり、書いたり表現できる。 情報を的確に読み取り、客観的に考えることができる。	・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、言語力の向上に努めようとする態度を養う。	・ 学習への取り組み方の観察 ・ リフレクションカードの点検 ・ 授業内外の課題への取り組み

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	小論文の書き方Ⅰ	・原稿用紙の使い方や表記の決まり ・適切な書き言葉と係り受け ・要約の方法を学ぶ	・適切な言葉遣いや表記に関する知識を身につけている。【知】 ・筆者の主張を的確に読み、まとめることができる。【思】 ・わかりやすい文を書くことに意欲を持つ	⑦⑧
5	6	ディベートに挑戦しようⅠ	・ディベートの意義 ・マイクロディベートに取り組む	・ディベートの意義を理解している。【知】 ・テーマを多角的な視点で捉え、賛否の両側面から自分の考えを述べるができる。【思】【態】	④⑦⑧⑨
6	8	小論文の書き方Ⅱ	・小論文とは何か ・反論を想定して書く ・文章を読み取って書く ・統計資料を読み取る ・発想を広げて書く	・小論文の基本的な構造を理解し書くことができる。【知】 ・社会の諸問題から適切な材料を決め、伝えたいことを明確にしている	④⑦⑧⑨
7	6	面接	・用意した志望理由書や自己推薦書をもとに面接にチャレンジする	・話し言葉の特徴を理解し、場面や相手に応じて適切な表現ができる。【知】 ・相手の共感が得られるように、内容や言葉遣いについて工夫している	①④⑧
8	4	小論文の書き方Ⅲ	・課題文の読み取りと要約 ・課題文型小論文に取り組む ・図表の読み取りと論の構築 ・データ型小論文に取り組む	・筆者の論を的確に捉え、要約できる。 ・構成、構文を適切に用い、自分の主張を効果的に表現することができる。 ・表やグラフの特徴を適切に読み取り、表現できる。 ・図表から読み取ったことをきっかけに、自らの考えを構築し、的確に表現する	④⑦⑧⑨
9	6				
10	8	メディアを駆使する	・通信文を書き分ける ・電話を使いこなす ・電子メールを活用する ・ネット社会との付き合い方 ・ネットを活用した情報収集	・目的や場面に応じ、メディアの特徴を活かして利用することができる。【知】 ・コミュニケーションツールを効果的に使い、適切な表現を用いて自分の考えを伝える	④⑨
11	6	発表1 議論、スピーチ	・建設的な議論の進め方 ・スピーチをしよう	・相手に伝わるような話し方、議論の組み立てについて理解している。【知】 ・論点を明確にして、自分の考えと比較しながら聞き、より良い結論になるように議論に参加している。【思】【態】	②④
12	6				
1	4	発表2 プレゼンテーション	・聞き手の興味を引くために ・プレゼンテーションをしよう	・資料や機器を効果的に用いることができる。【知】 ・設定した題材について調べたことを、図表や画像など使いながら聞き手にわかりやすく伝える	②④

教科名	地理歴史	講座名	日本史探究 γ II	履修区分	普通選択 3B①
科目名	日本史探究			単位数	2
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	①学習評価（生徒） （1）パフォーマンス評価（自己、相互） （2）成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） （1）パフォーマンス評価 （2）成果物評価 （3）査査評価
【思】	思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	①学習評価（生徒） （1）パフォーマンス評価（自己、相互） （2）成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） （1）パフォーマンス評価 （2）成果物評価 （3）査査評価
【態】	主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	①学習評価（生徒） （1）パフォーマンス評価（自己、相互） （2）成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） （1）パフォーマンス評価 （2）成果物評価 （3）査査評価

●学習計画 ※単元内容の実施時期、時数の変更の可能性があります。

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	C 近世の日本と世界 (1)近世への転換と歴史的環境 (2)歴史資料と近世の展望	・オリエンテーション ・近世の幕開け ・資料読解	【知】織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 【思】時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【主】戦国時代から織豊政権にかけての歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	④⑦⑧⑨
5	6	(3)近世の国家・社会の展望と画期(歴史の解釈、説明、論述)	・幕藩体制の成立と展開 ・幕藩体制の動揺	【知】幕藩体制の展開など近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	④⑦⑧⑨
6	8	D 近現代の地域・日本と世界 (1)近代への転換と歴史的環境	・近世から近代へ ・近代国家の成立	【知】幕末の動乱から明治政府の成立過程と諸文化の形成などを基に、近世から近代の政治・社会や文化の特色を理解している。 【思】中国大陸・朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、近世の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主】東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	④⑦⑧⑨
7	6				
8	4	D 近現代の地域・日本と世界 (1)近代への転換と歴史的環境	・近代国家の展開 ・近代の産業と生活 ・資料読解	【知】明治・大正時代の諸政策並びに対外戦争などを通して、日本は国際関係の中でいかに行動し、新たな国際関係を構築した過程・要因等について理解している。 【思】時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【主】近世との比較などを通して、近代の特色を主体的に探究しようとしている。	④⑦⑧⑨
9	6				
10	8	(2) 歴史資料と近代の展望	・資料読解	【知】近現代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近現代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	④⑦⑧⑨
11	6	(3)近現代の地域・日本と世界の画期と構造	・恐慌と第二次世界大戦 ・占領下の日本	【知】近現代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近現代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	④⑦⑧⑨
12	6				
1	4	(4)現代の日本の課題の探究	・高度成長の時代 ・激動する世界と日本	【知】第二次世界大戦後、日本の政治・経済・社会・文化はどのように変化し、展開してきた過程や要因について理解している。 【思】戦後の国際情勢の変化に着目して、主題を設定し、近現代の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主】国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを主体的に見出そうとしている。	④⑦⑧⑨

教科名	保健体育	講座名	生涯スポーツ	履修区分	3年普通
科目名	生涯スポーツ			単位数	2
教科の目標	ニュースポーツやアダプテッドスポーツなどの様々なスポーツ種目を通して、現代社会におけるスポーツの意義を理解し、個人の体力・技能、性別、経験に応じてルールを柔軟に捉えることで、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ姿勢を身につける。				
備考	【履修条件】 特になし				
科目の目標	・ ニュースポーツやアダプテッドスポーツの意義・歴史やルールについて理解する。 ・ 他者を尊重して、技能や体力、経験によらず誰もがスポーツを楽しめるように工夫できる考え方を養う。 ・ 仲間と協働し、安全に配慮しながら主体的にスポーツに取り組む態度を身につける。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【人】	主体的に学習に取り組む態度	互いに協力しながら集団における自己の責任を果たし、一人一人の違いを認め合おうとする態度で授業に臨んでいる。また、健康・安全を確保して運動に取り組んでいる。	学習状況 服装
【思】	思考力・判断力・表現力	多様なスポーツの歴史やルールに触れながら、公平（相対的平等）な考え方で生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための課題や解決方法について考え判断し、他者とのコミュニケーションを図っている。	学習状況 課題レポート
【知技】	知識・技能	多様なスポーツの歴史やルールを理解し、集団やプレイヤーの特性に応じた技能・戦術を身につけている。	学習状況 技能テスト ルールテスト

●留意点

・個人および集団の安全を守るために授業規律を守ること。 ・指定された服装で授業を受けること。 ・授業中に体調が悪くなった場合、速やかに担当教諭に報告し指示を仰ぐこと。 ・入念に準備運動・整理運動を行い、学習環境・施設・道具の安全確認をするなど、常に安全に配慮して授業に取り組むこと。
--

●学習計画

月	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4 5 6	ニュースポーツⅠ	・テニボン ・アルティメット 他	新しく触れるスポーツのルールや歴史を理解し、他者と共に楽しめるように主体的に取り組もうとしている。	①④⑦⑨
7 8 9	アダプテッドスポーツ	・ゴールボール ・シットバレー ・ボッチャ 他	アダプテッドスポーツやパラスポーツのルールや歴史を理解し、人間の多様性を尊重しながらスポーツに取り組もうとしている。	⑥⑦⑩
10 11	ニュースポーツⅡ	・フロアカーリング ・タッチフット 他	新しく触れるスポーツのルールや歴史を理解し、他者と共に楽しめるように主体的に取り組もうとしている。	①④⑦⑨
12 1	スポーツ創造	多様な人が楽しめるように、既存のスポーツをアレンジしたり新種目を考案したりする	様々なスポーツに触れた経験や知識を活かし、仲間との意見交流を経て、多くの人が楽しめるスポーツを作り上げようとしている。	③④⑦⑧

教科名	家庭科	講座名	保育基礎	履修区分	普通選択 3 B②
科目名	保育基礎			単位数	2
教科の目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ②生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
科目の目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ②子供を取り巻く課題を発見し、保育担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	レポート 定期考査 製作品
【思】	思考・判断・表現	子供を取り巻く課題を発見し、保育担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	授業の取り組み 定期考査 ワークシート レポート 演習
【態】	主体的に学習に取り組む態度	子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	授業の取り組み ワークシート レポート 演習 製作品

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	子どもの保育	子どもに関わる職業を知ろう！ 保育の意義 保育の環境	子どもの人格形成における保育の重要性と、保護者や保育者の役割を理解している【知】 家庭保育と集団保育の役割と、各種保育の現場の特徴を理解している【知】 現在の子育ての環境の変化と関連づけながら集団保育に求められることについて考察することができる【思】 自分自身が親や保育者になることを考え、自分の人生観を結びつけて考えようとする姿勢がみられる【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
5	6	子どもの保育 子どもの発達	保育の方法 子どもの発達の特性	月齢・年齢に応じた保育者の適切な関わり方と、子どもの発達の共通性・個性について理解している【知】 月齢・年齢に応じた適切な関わり方として、具体的な声かけなどの内容を考えられる【思】	②③④⑥ ⑦⑧⑨
6	8	子どもの発達	【前期中間考査】 子どもの発達の特性 乳幼児の発育と発達	子どもの発達は、身体の発育と心や身体の機能の発達が相互に関連してなされていくことを理解している【知】 発達の各側面における課程や、情緒や社会性などの心の発達と愛着形成の関連について理解している【知】 母子手帳や地域の子育てに関する資料を読み取り、子どもの発達や保育者の関わりの特徴を具体的にまとめることができる【思】	②③④⑥ ⑦⑧⑨
7	6	子どもの生活	子どもの健康と生活 子どもの食事 子どもの衣服と寝具	子どもの日常生活における世話の仕方とその役割について理解している【知】 乳幼児期の衣生活や食生活の特徴と発達に必要なエネルギー・栄養素について理解している【知】 現代の子どもの食生活の変化について、健康や生活習慣に関する課題を見つけ自分の考えをまとめることができる【思】 食育活動などに関心をもち、子どもの食生活や衣生活に関わる取り組みについて主体的に情報収集をしようとしている【態】	②③④⑥ ⑦⑧⑨
8	4	子どもの生活	子どもの健康と安全	子どもの病気の特徴を知り、予防接種など適切な看護の方法を理解している【知】 家庭や保育施設における安全性についての課題を見出し、子どもを危険から守るための具体的な方法を考察することができる【思】 子どもの自由な生活を確保しつつ、事故を防ぐためにはどうしたらよいか、親や家族の視点で課題に取り組もうとしている【態】	②③④⑥ ⑦⑧⑨
9	6	子どもの生活	【前期期末考査】 赤ちゃん触れ合い体験実習	乳幼児との関わりを通して、子どもの発達や生活の特徴と妊娠期の家族の関わりについて、インタビューや観察を通してまとめ、発表することができる【思】 子どもの発達段階や生活の特徴を意識しながら、積極的に子どもや保護者とかわろうとしている【態】 グループメンバーと共同して課題に取り組もうとしている【態】	②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨ ⑩
10	8	子どもの福祉 子どもの文化	保育にみる児童観 児童福祉の理念と法規・制度 子どもの文化の意義 子どもの文化を支える場	世界・日本の児童観や子どもの福祉の変遷の歴史が、現代のさまざまな法律や制度に生かされていることと、福祉に関わる施設の役割について理解している【知】 児童虐待や貧困など、具体的な問題を通じて子どもの福祉の必要性を考察することと、子どもの文化の現状を捉え、自分の考えをまとめたり発表することができる【思】	②③④⑥ ⑦⑧⑨
11	6	子どもの文化	子どもと遊び 子どもの表現活動 【後期中間考査】	子どもの具体的な遊びを知り、健やかな発達が遊びによってもたらされることを理解している【知】 現代の子どもの遊びを取り巻く現状を理解し、課題について自分の考えをまとめることができる【思】	②③④⑥ ⑦⑧⑨
12	6	まとめ 振り返り	保育の課題に取り組もう！ ミニ絵本作制	月齢・年齢ごとの子どもの特徴を理解した上で、心身の発達を促すために、適切な絵本を考え、作成することができる【思】 保育者や保護者の視点で、子どもたちが楽しめるような絵本の読み聞かせを積極的に取り組もうとしている【態】	③④⑤⑥ ⑦⑨⑩
1	4	まとめ 振り返り	保育の課題に取り組もう！ 【後期期末考査】	これまで学習してきた内容を振り返り、保育にかかわることをまとめることができる【知】 これまで学習してきた内容を踏まえ、将来自分がどのような形で子どもとかわっていくかをイメージしようとしている【態】	③④⑤⑥ ⑦⑨⑩
2					
3					

教科名	芸術	講座名	演奏に親しむ	履修区分	3B②
科目名	音楽			単位数	2
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	さまざまな音楽に触れることにより、生涯にわたって音楽を愛好する心情の育成とその基盤となる技術や知識の習得を目指し、音楽文化が社会で果たす役割について考える。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	実技（歌唱、器楽演奏・アンサンブル等） 鑑賞 ペーパーテスト
【思】	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	実技（歌唱、器楽演奏・アンサンブル等） 鑑賞
【態】	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業態度、課題提出状況、忘れ物状況

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	オリエンテーション 楽譜の理解と演奏	演奏に親しむについて 読譜練習	・ 楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱や器楽の特徴に関心をもち、表現意図をもって創造的に演奏したり、表現上の効果を生かして演奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。 【態】 ・ グループで合奏することに関心をもち、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、主体的に取り組もうとしている。 【態】 ・ 楽器の音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、音色や奏法の特徴を生かした演奏方法を工夫し、どのように演奏するか表現意図をもっている。 【知】 【思】 ・ 楽器の音色や特徴を生かした音楽表現をするために、必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。 【知】 【思】 ・ 楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に音楽表現をしたり、表現上の効果を生かした音楽表現をしたりするために必要な読譜などの技能を身に付け、創造的に表している。 【知】 【思】 ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、構造上の特徴と美しさのかかわり、音楽とストーリーのかかわりを理解し、楽曲を解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 【知】 【思】	
5	6	楽譜の理解と演奏 器楽鑑賞	読譜練習 器楽（独奏・アンサンブル）鑑賞		
6	8				
7	6				
8	4	器楽鑑賞 歌唱	器楽（独奏・アンサンブル）鑑賞 斉唱・合唱		
9	6				
10	8				
11	6				
12	6				
1	4				

①②③④⑥
⑦⑧⑨⑩

教科名	芸術	講座名	書道Ⅲ	履修区分	3B②
科目名	書道Ⅲ			単位数	2
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	書の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、表現の多様性について理解を深め、創造的に構想し個性豊かに表現する能力を伸ばし、生活や社会における書の役割や効用、書の美の意味や価値などについての理解を深め、豊かな情操、自己肯定力を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・書の表現の方法や形式、多様性について、書の創造的な諸活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	○ワークシートの記述状況 ○活動の様子（意見交流における発言等） ○作品
【思】	思考・判断・表現	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えている。	○ワークシートの記述状況 ○活動の様子（意見交流における発言等） ○作品
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・書の伝統と文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	○ワークシートの記述状況 ○活動の様子（作品制作、鑑賞の取り組み状況）

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	漢字の書の多様性を楽しむ	古典の鑑賞と臨書 篆書 隸書 行書・草書 長丈幅の鑑賞 楷書	・それぞれの古典の用筆・運筆について理解し、表現することができる。【知】 ・それぞれの古典の特徴を理解し、創造的に構想して表現することができる。また、古典の美を味わい、捉えている。【思】 ・主体的に表現、鑑賞の活動に取り組んでいる。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
5	6				
6	8				
7	6	漢字の書作品を味わう	漢字の書の鑑賞 漢字の書の制作	・漢字の書を構成する要素を理解し、効果的、創造的に表現することができる。【知】 ・表現意図を深め、意図に基づいて創造的に構想して表現を工夫している。また、書の美を味わい捉えている。【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①②③④ ⑥⑦⑧⑨ ⑩
8	4	仮名の書の多様性を楽しむ	字体の違いを捉える 書風の個性を捉える	・それぞれの古筆の用筆・運筆について理解し、表現することができる。【知】 ・それぞれの古筆の特徴を理解し、創造的に構想して表現することができる。また、古筆の美を味わい、捉えている。【思】 ・主体的に表現、鑑賞の活動に取り組んでいる。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
9	6				
10	8	仮名の書作品を味わう	仮名の書の鑑賞 仮名の書の制作	・仮名の書を構成する要素を理解し、効果的、創造的に表現することができる。【知】 ・表現意図を深め、意図に基づいて創造的に構想して表現を工夫している。また、書の美を味わい捉えている。【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩
11	6	漢字仮名交じりの書を楽しむ	漢字仮名交じりの書の鑑賞 漢字仮名交じりの書の制作	・漢字仮名交じりの書を構成する要素を理解し、効果的、創造的に表現することができる。【知】 ・自らの思いや感動を素材として表現意図を深め、意図に基づいて創造的に構想して表現を工夫している。【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩
12	6				
1	4	篆刻・刻字を楽しむ	篆刻・刻字の鑑賞 篆刻・刻字の制作	・篆刻・刻字を構成する要素を理解し、効果的、創造的に表現することができる。【知】 ・表現意図を深め、意図に基づいて創造的に構想して表現を工夫している。また、篆刻・刻字の美を味わい捉えている。【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩

教科名	国語	講座名	国語表現Ⅱ	履修区分	普通選択2B②
科目名	国語表現			単位数	2
教科の目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。				
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけている。 国語の知識や技能を使って、適切に表現することができる。	・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【思】	思考・判断・表現	目的や場面に応じて、効果的に話したり、書いたり表現できる。 情報を的確に読み取り、客観的に考えることができる。	・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、言語力の向上に努めようとする態度を養う。	・ 学習への取り組み方の観察 ・ リフレクションカードの点検 ・ 授業内外の課題への取り組み

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	表現力を培う 1 言葉と表記	- 言葉と表記 - 整った文を書く - 相手に応じた言葉遣い - わかりやすい文を書く - 文のつなぎ方	- 適切な言葉遣いや表記に関する知識を身につけている。 - 自分の思いや考えを表現するために、五感を磨き、豊かな表現をすることができる。【知】 - わかりやすい文を書くことに意欲を持ち取り組んでいる。【態】	⑦⑧
5	6	自己PR	- 効果的な自己PR - 将来の自分を考える - 志望理由を書く - 自己推薦書を書く 進学と就職に分かれ、それぞれ志望理由書と履歴書を書く	- 目的や場に応じて、自分の考えが伝わるよう具体例を効果的に用いている。【知】 - 相手に伝わるように話の構成や展開を工夫している。【思】【態】	①④
6	8	小論文	国語表現Ⅰの内容を踏まえ - 課題文型 - データ型 - テーマ型の小論文を書く	- 小論文の基本的な構造を理解し書くことができる。【知】 - 社会の諸問題から適切な材料を決め、伝えたいことを明確にしている。【思】【態】	⑧⑨
7	6	進学用小論文 就職用小論文	- 実践を意識した小論文の課題に取り組む。 - 国語表現Ⅰを踏まえ、表現の仕方に注意して取り組む。 就職と進学に分かれて行う	- 客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートを書くことができる。【知】 - レポートの目的や意図に応じて、適切な題材を選び、表現の仕方を工夫している。【思】【態】	⑦⑧
8	4	面接	- 以前に取り組んだ履歴書と志望理由書を踏まえ面接練習を行う - 相互評価を行い、それぞれ良い点、改善点を伝え合う 就職と進学に分かれて行う	- 話し言葉の特徴を理解し、場面や相手に応じて適切な表現ができる。【知】 - 相手の共感が得られるように、内容や言葉遣いについて工夫している。【思】【態】	②④
9	6	通信文を書く 小論文に向け、 各分野のレポート を書く	- 通信文（特にお礼状）を書く - 実際の小論文試験を意識し、メディアを使って各分野の情報を収集し、レポートを作成する。 就職と進学に分かれて行う	- 目的や場面に応じ、メディアの特徴を活かして利用することができる。【知】 - コミュニケーションツールを効果的に使い、適切な表現を用いて自分の考えを伝えている。【思】【態】	①④⑧
10	8	グループディス カッション	- グループディスカッションのねらいを理解する - 話し合いに貢献するために他の人の意見を聞く	- 論点を明確にし、相手の意見を聞きながら自分の考えを深めようとしている。 - 話し合いの進行や展開を助けるために発言し、より良い結論となるよう工夫している。【思】【態】	⑦⑧⑨
11	6	発表 プレゼンテー ション	- 聞き手の興味を引くためにプレゼンテーションをする - スライド等のメディアを使って効果的に伝える	- 資料や機器を効果的に用いることができる。【知】 - 設定した題材について調べたことを、図表や画像なども用いながら聞き手にわかりやすい資料にまとめ発表している。【思】【態】	④⑨
12	6	表現を楽しむ① 「わが町自慢」 のパンフレット 作り	- 新ひだか町のパンフレットを作る - 移住を意識し、日常生活を送る中で良いことを周りの人に聞いたり、メディアを使って情報収集	- 資料や機器を効果的に用いることができる。【知】 - 設定した題材について調べたことを、図表や画像なども用いながら聞き手にわかりやすい資料にまとめ発表している。【思】【態】	②④
1	4	表現を楽しむ② 悩み事相談室	悩みや気がかりなことの相談に対し、回答を考えてみよう	- 書き言葉の特徴を理解し、場面や相手に応じて適切な表現ができる。【知】 - 相手の共感が得られるように、内容や言葉遣いについて工夫している。【思】【態】	②④

教科名	情報	講座名	情報の表現と管理	履修区分	普通選択 3C①
科目名	情報の表現と管理			単位数	2
教科の目標	情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。				
科目の目標	情報の表現と管理に関する基礎的な知識と技術を習得させ、情報を目的に応じて適切に表現するとともに、管理し活用する能力と態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解するとともに、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	・定期考査 ・実技テスト ・実習演習成果物
【思】	思考・判断・表現	情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、情報産業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	・ワークシート ・実習演習成果物
【態】	主体的に学習に取り組む態度	情報の各分野に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	・授業態度、取組状況 ・提出物

●学習計画

月	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	メディアの種類と特性	- 情報の定義、メディアの定義と分類を理解する。 - メディアの特性を理解する。 - 情報伝達の方法と種類を理解する。	- 身の回りの「情報」という概念に気付くことができる。【関】 - 情報を意識し、使い分けができる。【技】	③④⑦⑧
5	コミュニケーションの基礎	- コミュニケーションの定義と意義を理解する。 - 集団で行われるコミュニケーション技法を理解する。	- 状況に応じたコミュニケーション手段を選択できる。【思】 - コミュニケーションの技法を理解できる。【知】	③④⑦⑧
6	文書・図解・音・画像・動画による表現	- ワープロソフトを利用して、チラシ、定型文書、報告書等をわかりやすく作成する。 - 表計算ソフトを利用して、さまざまな表やグラフを作成する。 - 音のデジタル化のプロセスを理解する。 - デジタル画像の意義と特性を理解する。 - 動画ファイルの種類と特性を理解する。	- 伝えたい内容を積極的にまとめるようとしている【関】 - 適切なソフトを使用して実習を行うことができる。【思】 - アプリケーションソフトウェアの使い方に習熟することができる。【技】 - 音声、画像、動画のデジタル化について理解できる。【知】	③⑦⑧
7				
8				
9	プレゼンテーションネットワークを利用した情報発信	- プレゼンテーションの意義と活用例を理解する。 - 全体の流れ(内容の決定、発表準備、リハーサル、本番、フィードバック)を理解する。 - プレゼンテーションソフトを起動し、スライドを作成する。 - 表現力を高めるために、図解の利用やアニメーションの設定を行う。 - 配布資料、発表者用資料を作成する。 - 電子コミュニケーションの意義と特徴を理解する。	- 積極的に情報収集をしている。【関】 - 聴衆を意識したストーリーの組み立てをすることができる。【思】 - 適切な機器の使い方や効果的なアプリケーションソフトウェアの使い方をすることができる。【技】 - プレゼンテーションの準備や技法について理解することができる。【知】 - ネットワークの特徴、特性を理解することができる。【知】	②③④⑥⑦⑧⑨
10				
11				
12	ドキュメンテーション情報の管理	- ドキュメントを共有する大切さを理解する。 - 情報セキュリティについて理解する。	- 形式にあったドキュメントを作成することができる。【技】 - 情報セキュリティの知識を身に付けることができる。【知】	②⑦
1	コンピュータによる情報の管理と活用	- 表計算ソフト等を用いて、さまざまな情報を管理する手法を理解する。 - 社会の情報化について理解し、将来を考察する。	情報管理の手法と技術を身に付けることができる。【技】	②⑦

教科名	芸術	講座名	音楽Ⅲ	履修区分	3C①
科目名	音楽			単位数	2
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	音楽Ⅰ・Ⅱの学習を基礎にして音楽文化の多様性について理解し、知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を工夫する。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	実技（歌唱、器楽演奏・アンサンブル等） 鑑賞 ペーパーテスト
【思】	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	実技（歌唱、器楽演奏・アンサンブル等） 鑑賞
【態】	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業態度、課題提出状況、忘れ物状況

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	オリエンテーション 歌唱 楽譜の理解と演奏	音楽Ⅲについて・合唱・読譜練習	・様々な表現形態による歌唱活動に関心をもち、それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。【態】 ・声を合わせる活動に関心をもち、それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。【態】 ・リズム、旋律、テクスチュア、強弱を知覚することができる。【知】 ・音楽を構成する要素が生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、歌詞の内容をかかわらせて、様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現を工夫して、どのように歌うか表現意図をもっている。【思】 ・曲想を歌詞の内容とかわらせて、イメージをもって音楽表現をするために、必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。【知】 ・音楽の多様性を理解し、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。【思】	①③⑥⑦⑨
5	6	歌唱 器楽 楽譜の理解と演奏 鑑賞	斉唱、合唱 読譜練習、鑑賞		
6	8				
7	6				
8	4		斉唱、合唱 読譜練習、鑑賞、器楽基礎練習		
9	6	歌唱 器楽 創作 鑑賞	斉唱、合唱 器楽、創作、鑑賞	・楽器の基礎的な奏法を身に付けて、それらを生かして演奏することに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。【知】【態】 ・グループで合奏することに関心をもち、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、主体的に取り組もうとしている。【態】 ・楽器の音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、様々な表現形態の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するか表現意図をもっている。【思】 ・楽器の奏法やその特徴を生かした音楽表現をするために、必要な楽器の技能を身に付け、創造的に表している。【知】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、舞台芸術の特徴を理解し、それらの価値を考えて音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。【知】【思】	①②③④⑥ ⑦⑧⑨⑩
10	8				
11	6				
12	6				
1	4				

教科名	芸術	講座名	色彩に親しむ	履修区分	普通選択 3C①
科目名	色彩に親しむ			単位数	2
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、主題を生成し発想や構想を練りながら、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	提出作品
【思】	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	構想シート アイディアスケッチ
【態】	主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関り主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	創作活動等に対する取り組む姿勢 課題の提出状況 鑑賞シート

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	【デザイン】 トーンについて デザイン・企画	色の仕組みについて理解し、 トーンを基本としたポスター 制作を行う。	手本となる絵画作品の形や光、陰影、質感、造形的な特徴を基に、造形の要素について全体のイメージを捉えることを理解し、作者の表現形式の特徴を活かし、夢や想像などから主題を生成し、形体や構成などについて考え創造的な表現の構想を練り制作しようとしている。 【知】【思】【態】	③④⑦
5	6				
6	8	【絵画】 アレンジ模写	抽象的な絵画をベースとし、 アレンジ絵画制作を行う	素材や配置の変化、色を与える印象の違いから全体のイメージや作風、様式などを捉えることを理解し、与えられた条件を基に表現形式の特性を活かし、見やすい配色で創造的な表現の構想を練り制作しようとしている。【知】【思】【態】	③④⑦
7	6				
8	4				
9	6	【デザイン・彫刻】 ご当地マスコットデザイン・企画	ポスター制作 石粉粘土を使用した立体作品	地域の良さや名産を基に、マスコットキャラクターの造形の要素について全体のイメージや作風を捉えることを理解し、材料や用具を活かしながら、思い描いたキャラクターの造形を細部まで行うとともに表現形式の特性を活かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練って制作している。 【知】【思】【態】	③④⑤⑦
10	8				
11	6				
12	6	【デザイン】 ピクトグラム	自分の好きなことをテーマに、パルプボードにピクトグラムを描画する。	テーマに基づき情報を取捨選択・単純化すし、色を与える印象の違いから全体のイメージや作風、様式などを捉えることを理解し、アクリル絵の具の特性を活かしたムラのない美しい混色をするとともに、配色を工夫し、創造的な表現の構想を練っている。 【知】【思】【態】	③④⑦
1	4				

教科名	外国語	講座名	英語会話	履修区分	普通科選択
科目名	英語会話			単位数	2
教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどの確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。				
科目の目標	日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考えなどを理解し伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	○課題テスト
【思】	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身につけている。	○課題テスト ○パフォーマンステスト
【態】	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。	○パフォーマンステスト等に対する取り組む姿勢と結果 ○活動の観察

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力	
4	6	Warm up	基本的なあいさつ、自己紹介・他者紹介	[知識・技能]言語材料となっている文法事項の理解・運用ができているかどうか。 [思考・判断・表現] 単元の題材に対する理解ができているか。 単元の題材に関連する情報を収集、報告することができる、またはそれに対する自分の意見を表現できるかどうか。 [主体的] 提示された課題に対する取り組み・内容の深さ	①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
5	6	Lesson 1-2	学校生活、週末の過ごし方		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
6	8	Lesson 3	空港・航空機内について		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
7	6	Lesson 4	電話について		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
8	4	Lesson 5	街の様子・道案内		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
9	6	Lesson 6	買い物について		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
10	8	Lesson 7	衣服に関する表現	[知識・技能]言語材料となっている文法事項の理解・運用ができているかどうか。 [思考・判断・表現] 単元の題材に対する理解ができているか。 単元の題材に関連する情報を収集、報告することができる、またはそれに対する自分の意見を表現できるかどうか。 [主体的] 提示された課題に対する取り組み・内容の深さ	①②③⑥ ⑨⑩	
11	6	Lesson 8	体の名称・病院での表現		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
12	6	Lesson 9	職業について		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
1	4	Lesson 10	家事について		①②③④ ⑥⑦⑧⑨	
2						
3						

教科名	理科	講座名	科学と人間生活	履修区分	3C①
科目名	科学と人間生活			単位数	2
教科の目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、 目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
科目の目標	自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	科学技術の発展の人間生活への貢献，身近な事物・現象を通して人間生活と科学技術の関連性の知識を身につけ，科学技術と人間生活のあり方について理解する。また，観察，実験の技能を習得するとともに，科学的に探究する方法を身につける	・レポート等の成果物 ・テスト ・実験操作と理解
【思】	思考・判断・表現	身近な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験，調査などを行って得た結果について，科学的に思考し，判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する	・レポート等の成果物 ・テスト ・実験操作と理解
【態】	主体的に学習に取り組む態度	身近な事物・現象に関心や探究心を持ち，科学的な視点・考察力を養うとともに，科学技術に対する関心を高める態度を身につける	・レポート等の成果物 ・テスト ・実験操作と理解

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	序章 科学技術の発展	1. 情報伝達技術の発展 2. エネルギー資源の活用と交通手段の発展 3. 医療技術の発展	・ レポート等の成果物 ・ テスト ・ 実験操作と理解	③
5	6	物質の科学	第1節 材料とその利用	・ レポート等の成果物 ・ テスト ・ 実験操作と理解	②⑧
6	8		第2節 衣料と食品	・ レポート等の成果物 ・ テスト ・ 実験操作と理解	
7	6	生命の科学	第1節 ヒトの生命現象	・ レポート等の成果物 ・ テスト ・ 実験操作と理解	③④
8	4		第2節 微生物とその利用	・ レポート等の成果物 ・ テスト ・ 実験操作と理解	
9	6	熱や光の科学	第1節 熱の性質とその利用	・ レポート等の成果物 ・ テスト ・ 実験操作と理解	⑦⑧⑨
10	8		第2節 光の性質とその利用	・ レポート等の成果物 ・ テスト ・ 実験操作と理解	
11	6	地球や宇宙の科学	第1節 自然景観と自然災害	・ レポート等の成果物 ・ テスト ・ 実験操作と理解	⑧⑩
12	6		第2節 太陽と地球	・ レポート等の成果物 ・ テスト ・ 実験操作と理解	②⑥⑦⑨
1	4	これからの科学と人間生活	これからの科学と人間生活の関わり方を考える	・ レポート等の成果物 ・ テスト ・ 実験操作と理解	①②⑤⑨
2					
3					

教科名	外国語	講座名	応用英語 β	履修区分	選択履修
科目名	学校設定			単位数	2
教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどの確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。				
科目の目標	日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話や文章の展開や話し手または書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で論理性に注意して詳しく話して伝え合ったりすることができる。 3. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	○課題テスト及び定期考査 ○活動の観察
【思】	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身につけている。	○課題テスト及び定期考査 ○活動の観察 ○パフォーマンステストまたはエッセイライティング
【態】	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。	○課題テスト等に対する取り組む姿勢と結果 ○活動の観察 ○他者の表現活動に対する姿勢の観察

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	L1 The History of Calendars L2 The Real Price of a Necklace	歴史・物の起源【広島工業大】 物語・人物【四国大】	[知識・技能] ・語彙・文法を理解し、スラッシュリーディングができる。 ・図などを使って内容を理解できる。 [思考・判断・表現] ・各レッスン毎のテーマに対する理解ができているか。 ・レッスンのテーマの題材に関連する情報を収集、報告することができる、またはそれに対する自分の意見を表現できるかどうか。 [主体的] 提示された課題に対してより深く理解しようとすることができる。 前期中間考查 6月5日～6月7日 前期期末考查 9月3日～9月6日	①②③④ ⑥⑧⑨
5	6	L3 An Internet Hero L4 C's Language Acquisition & Literature	インターネット【流通科学大】 言語・コミュニケーション【甲南大】		
6	8	L5 Wind Power Energy L6 Where Did the Moon Come From?	環境・エネルギー【兵庫県立大】 宇宙【大阪経済大】		
7	6	L7 The Real Danger of Sports Doping L8 The True Story of Kilts	スポーツ【北海道医療大】 歴史・物の起源【大妻女子大】		
8	4	L9 Fewer Japanese Students Studying Abroad	教育【中央大】		
9	6	L10 What makes Us Happy? L11 The Most Common Language in the World	心理【岐阜聖徳学園大】 言語・コミュニケーション【摂南大】		
10	8	L12 Japanese Culture L13 Underground Water Supplies L14 Need for Affection	比較文化【名城大】 環境・資源【高知工科大】 生物【麻布大】		
11	6	L15 A Chance Meeting L16 Poverty L17 Polar People	人生【立正大】 社会【産能大】 科学【岡山大】		
12	6	L18 Internet Health Communities L19 Foucault's Pendulum	医療・福祉【竜谷大】 科学【名古屋外国語大】		
1	4	L20 Acculturative Stress	社会・文化【京都文教大】	後期中間考查 11月13日～11月15日 後期期末考查 1月29日～1月31日	

教科名	商業	講座名	コンピュータ技術	履修区分	普通選択 3 C ②
科目名	コンピュータ技術			単位数	2
教科の目標	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的に、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。				
科目の目標	アプリケーションソフトを使って、日常業務をさらに効率よく行うための知識と技術を習得させるとともに、情報活用のための創造的な能力と実践的な態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	アプリケーションソフトの利用方法を 知り、与えられた指示を適切に実行が できる。	・実技評価 ・実技課題提出状況 ・検定試験への取り組み
【思】	思考・判断・表現	情報処理の手順を整理し、有効なア pplicationソフトを選択できる。	・実技評価 ・実技課題提出状況 ・検定試験への取り組み
【態】	主体的に学習に 取り組む態度	アプリケーションソフトに関する技術 を適切に評価・活用しようとする。.	・授業態度 ・授業振り返りシート ・課題提出状況 ・検定試験への取り組み

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	スピード 入 力	タイピングソフト、 模擬問題を利用したタイピング	正確に、早く入力することができるか。【知・思・ 態】 ブラインドタッチで入力できるか。【知・思・態】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩
5	6	文 デ ザ イ ン 作 成	書式設定 (文字数、行数、余白など)	文字のレイアウトを正しく設定できる か、また必要に応じて正しく変更できる か。【知・思】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩
6	8		文字 (フォント、ルビ、文字色)	表や画像、図形の挿入やレイアウトを 正しく設定できるか、また必要に応じて 正しく変更できるか。【知・思】	
7	6		表 (挿入、結合、線種など)	日検文書デザイン検定への取り組み。 【態】	
			図形 (挿入、文字入力、線種)		
8	4	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 作 成	スライドマスタ (設定、入力など)	スライドマスタを正しく設定できる か、また必要に応じて正しく変更できる か。【知・思】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩
9	6		画面切り替えの設定 アニメーションの設定	表や画像、図形、グラフの挿入やアニ メーションを正しく設定できるか、また 必要に応じて正しく変更できるか。 【知・思】	
10	8		グラフの挿入 表および図形の挿入	日検プレゼンテーション作成検定への 取り組み。【態】	
11	6	ホ ー ム ペ ー ジ 作 成	スタイルシートの作成とリン ク	スタイルシートを正しく設定できる か、また必要に応じて正しく変更できる か。【知・思】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩
12	6		表 (挿入、結合、表示の有無 など)	表や画像の挿入やリンクを正しく設定で きるか、また必要に応じて正しく変更で きるか。【知・思】	
			画像の挿入と代替テキストの 設定		
1	4		ファイル内へのリンク設定 ファイル外へのリンク設定	日検ホームページ作成検定への取り組 み。【態】	

教科名	家庭科	講座名	生活と福祉	履修区分	普通選択3 C②
科目名	生活と福祉			単位数	2
教科の目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ②生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
科目の目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ②高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	ワークシート レポート 演習や実技の取り組み 定期考査
【思】	思考・判断・表現	高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	ワークシート レポート 演習や実技の取り組み 定期考査
【態】	主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	ワークシート レポート 演習や実技の取り組み

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	人の一生と生活・健康	健康の概念 ライフステージと健康管理	・生活習慣と健康について関心を持ちながら学習活動に取り組んでいる。【態】 ・各ライフステージにおける健康について理解し、自分自身の生活を振り返り課題を見つけ将来に向けて改善点を考えることができる。【思】	③⑥
5	6	高齢化の現状と高齢者の特徴	高齢化の現状 高齢者の心身の特徴と病気	・日本における高齢化の現状を理解している。【知】 ・高齢期の心身的特徴を理解している。【知】	⑥⑨
6	8	高齢者の自立生活支援	高齢者の生活課題と施策 【前期中間考査】	・高齢者の生活課題を知り、自立支援の視点で改善策を考えることができる。【思】	②④⑦⑧
7	6		自立生活支援の基本となる考え方	・ノーマライゼーションの考えに関心を持ちながら学習に取り組んでいる。【態】	⑥
8	4		高齢者介護	・介護予防や様々な状態の高齢者における介護の知識を身に付けている。【知】	②⑥
9	6	高齢者支援の法律と制度	社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ 【前期期末考査】	・社会福祉制度のしくみについて理解している。【知】	⑥
10	8		介護保険制度	・介護保険制度について理解するとともに、利用者と介護者を支援するためにどうサービスを利用すれば良いか考えることができる。【知】【態】	③⑦⑧
11	6		高齢者支援と地域包括ケアシステム 【後期中間考査】	・身近な地域包括ケアシステムに関心を持ちながら学習に取り組んでいる。【態】	⑥
12	6	介護・看護の実習と生活支援	生活支援演習	・自立支援の視点を持って、高齢者や家族の生活を充実向上させるための支援策を考えることができる。【思】 ・各演習テーマについて意欲的に課題解決に向けた意見を考えることができる。【態】	①②④⑦⑧⑩
1	4		学習内容に関わる介護演習・介護実習	・基礎的・基本的な介護技術や看護技術を身に付けている。【知】 ・実習に積極的に参加し、演習ではテーマに関心を持ち自分の意見を伝えることができる。【態】【思】	②④⑥⑧
2					
3					

教科名	数学	講座名	数学基礎	履修区分	普通選択 3 C ②
科目名	数学基礎			単位数	2
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、それらを積極的に活用して日常生活に役立てようとする力を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、解釈したり、表現・処理したりする力を身に付けている。	定期考査 ノート・課題提出
【思】	思考・判断・表現	論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を意識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現をする力を身につける。	定期考査 ノート・課題提出
【態】	主体的に学習に取り組む態度	積極的に数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、考察・評価・改善する力を身につける。	定期考査 ノート・課題提出

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	数と式	整数の四則演算の演習	整数の四則演算について基本的な性質が身についているか。【態】【知】	③⑥⑦⑨
5	6	数と式	分数の四則演算の演習	分数の四則演算について基本的な性質が身についているか。【態】【知】	③⑥⑦⑨
6	8	数と式	分数の四則演算の演習	正確に計算する能力はもちろん、それを如何に他人へわかりやすく伝えるかの手段に関心を持つ。【態】【思】	③⑥⑦⑨
7	6	数と式	整式の展開	整式の展開について基本的な性質が身についているか。【態】【知】	③⑥⑦⑨
8	4	数と式	整式の展開	正確に計算する能力はもちろん、それを如何に他人へわかりやすく伝えるかの手段に関心を持つ。【態】【思】	③⑥⑦⑨
9	6	数と式	整式の因数分解	整式の因数分解について基本的な性質が身についているか。【態】【知】	③⑥⑦⑨
10	8	数と式	整式の因数分解	正確に計算する能力はもちろん、それを如何に他人へわかりやすく伝えるかの手段に関心を持つ。【態】【思】	③⑥⑦⑨
11	6	総合問題	各分野の融合問題	文章題を図示することで、思考を整理し、数学的な考え方で計算式に表すことができるか。【知】【思】	③⑥⑦⑨
12	6	総合問題	各分野の融合問題	文章から必要な情報を取捨選択することができ、他者に伝わる説明を書くことができるか。【態】【思】	③⑥⑦⑨
1	4	総合問題	各分野の融合問題	正確に計算する能力はもちろん、それを如何に他人へわかりやすく伝えるかの手段に関心を持つ。【態】【思】	③⑥⑦⑨

教科名	外国語	講座名	時事英語	履修区分	普通選択 3C②
科目名	時事英語			単位数	2
教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどの確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。				
科目の目標	英文を読んで内容を読み取る活動、調べ学習や自分の意見を発表する活動などを通して、英語運用能力の向上を目指します。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	○言語の働きなどを理解し、音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○課題テスト、定期考査
【思】	思考・判断・表現	○情報や考えなどの概要・詳細・意図を的確に理解したり適切に表現したりできる。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、幅広い話題について話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○エッセイ・インタビューテスト・発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート等への取り組みと成果
【態】	主体的に学習に取り組む態度	○情報や考えなどを的確に理解している。 ○言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重しながら、自分の意見や考えを表現しようとしている。	○課題テスト等に対する取り組む姿勢と結果 ○活動の観察、課題提出 ○積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	1 HARAMI chan	・ストリートピアノでみんなを笑顔に！ハラミちゃん：「～のとき」 when+S+V	・ペアワークで単語や熟語を覚える。 ・スラッシュごとに、本文の意味を理解する。 ・決められた英文を暗唱する。 【知】【思】【態】	①②③⑨
5	6	2 J.League's 30th Anniversary	・Jリーグ30周年 その歴史と地域との結びつき：「Aに～してほしい」 動詞+A+to+動原	・プレゼンテーションの原稿を作成する。 ・原稿を見ないで発表し、評価する。 【知】【思】【態】	①②③④⑧⑨
6	8	3 High School Deer Dancing Club	・郷土芸能を伝える 花巻農業高校鹿踊部：「BすることはAである」 It is A to B.	・ペアワークで単語や熟語を覚える。 ・スラッシュごとに、本文の意味を理解する。 ・決められた英文を暗唱する。 【知】【思】【態】	①②③⑨
7	6	4 Queen Elizabeth II	・エリザベス女王 イギリス国民に捧げた生涯：「～だろう」 will+動原	・プレゼンテーションの原稿を作成する。 ・原稿を見ないで発表し、評価する。 【知】【思】【態】	①②③④⑧⑨
8	4	5 Restoring Shuri Castle	・復元へ向けた工事が進む首里城：「～なので」 because+S+V	・ペアワークで単語や熟語を覚える。 ・スラッシュごとに、本文の意味を理解する。 ・決められた英文を暗唱する。 【知】【思】【態】	①②③⑨
9	6	6 Kiwi, Icon of New Zealand 7 Ishikawa Yuki	・ニュージーランド固有の鳥 キーウィ：「Bと同じくらいA」 as A as B ・世界で活躍！ バレーボールの石川祐希選手：「～したい」 want to+動原	・プレゼンテーションの原稿を作成する。 ・原稿を見ないで発表し、評価する。 【知】【思】【態】	①②③④⑧⑨
10	8	8 What Can We Do in the Metaverse? 9 Osagari Culture in Tanegashima	・最近話題のメタバースでできること：間接疑問文 ・種子島のおさがり文化がアプリで便利に：「～を望む」 hope that ~	・ペアワークで単語や熟語を覚える。 ・スラッシュごとに、本文の意味を理解する。 ・決められた英文を暗唱する。 【知】【思】【態】	①②③⑨
11	6	10 Cup Noodles 11 Glowing Creatures	・みんなが知ってる「カップヌードル」 その誕生秘話とは：関係代名詞 who ・神秘的な光を生み出す発光生物：「～したことがある」 have+過去分詞	・プレゼンテーションの原稿を作成する。 ・原稿を見ないで発表し、評価する。 【知】【思】【態】	①②③④⑧⑨
12	6	12 Loop, a New Re-use System 13 Mixed Culture in Spain	・ごみ削減のために再利用可能な容器を使う仕組み Loop：「ますます多くの～」 more and more ~ ・多様な文化が混在する国 スペイン：「～される」 be+過去分詞	・ペアワークで単語や熟語を覚える。 ・スラッシュごとに、本文の意味を理解する。 ・決められた英文を暗唱する。 【知】【思】【態】	①②③⑨
1	4	14 Kurobe Dam まとめ	・世紀の大事業 黒部ダムはなぜつくられた？：形式主語 ・1年の振り返り	・プレゼンテーションの原稿を作成する。 ・原稿を見ないで発表し、評価する。 【知】【思】【態】	①②③④⑧⑨
2					
3					

教科名	国語	講座名	3C②文学に親しむ	履修区分	選択
科目名	文学に親しむ			単位数	2
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を各科目の目標が示すとおり育成することを目指す。				
科目の目標	(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。【知】 (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。【思】 (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。【態】				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・ 考查 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【思】	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・ 考查 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・ 学習への取り組み方の観察 ・ リフレクションカードの点検

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	文学を読む目を養う『読む』	・文学作品の解釈における読者の存在の重要性と意義を理解する。 ・高度の「読み」の必要性和創造性を把握し、創造的な読みを試みることで、自らの読書生活を豊かにする。	・論証するために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【知】 ・「読む」という行為が意味する内容を、さまざまな次元において理解している。【思】 ・文学を高度に読み取る方法論について、自分の読書経験に比較しながら、粘り強く読み取ろうとしている。【態】	④⑦⑧
5	6	想像を広げる『晴れた空の下で』	・本文の描写や言葉遣いから「わし」の性格や心情をとらえる。 ・語句や表現のはたらきに注目して読む。	・登場人物の言葉遣いや語彙、作品中で用いられるオノマトペなど表現に注目し、その効果を理解している。【知】 ・言葉遣いや日常生活の描写における書き分けから、登場人物の性格や関係性、その時の心情を正しく読み取っている。【思】 ・冒頭と末尾の同じフレーズについて、主語が「わしら」から「わし」になっていることなど、小説における様々な表現方法に着目し、粘り強く読み味わおうとしている。【態】	④⑦⑧
6	8				
7	6	共感と驚異(短歌の鑑賞)「短歌作品」	・短歌が人を感動させるための方法を読み取る。 ・引用された作品を読み、筆者の主張を確かめる。 ・韻文の表現や効果について理解を深める。	・短歌の形式や表現技法を正しく理解している。【知】 ・各作品の情景をイメージして言語化し、対比や色彩、視点に注目して解釈している。【思】 ・短歌のさまざまな形式に興味をもち、他の歌を探したり調べたりしようとしている。【態】	④⑦⑧
8	4	詩を味わう『永訣の朝』	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	・作者についての知識をもちながら、詩の中で用いられている語句の意味を正しくとらえて作品を理解している。【知】 ・作品が描いている情景について、作者の伝記的事実もふまえながら考察している。【思】 ・作品を読んで感じたことや考えたことを鑑賞文などにまとめ、自分の意見を表現しようとしている。【態】	④⑦⑧
9	6	原題と作品の対比『山月記』	・漢文体が持つ独特のリズムを味わいながら、画面の展開と登場人物の心理の変化を的確に捉える。 ・原題である「人虎伝」と本作品を読み比べ、作者が描こうとしたテーマについて考え、小説を自分自身の問題に引きつけて読む姿勢を養う。	・漢文訓読調の文章を、抑揚をつけ、つまることなく音読し、我が国における言語文化の多様性を理解している。【知】 ・「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」とはどのようなものかを文脈から読み取り、現代との違いに着目して作品の主題を捉えている。【思】 ・小説を読んで、人間、社会、自然などについて考えようとしている。【態】	④⑦⑧
10	8				
11	6	発見と批評『檸檬』	・登場人物の感覚から事物の多用なとらえ方を知る。 ・文体の特徴に着目し、その効果について考える。	・現代ではあまり使われない語彙や擬態語、比喩といった表現の効果を理解し、読み味わっている。【知】 ・檸檬によってもたらされた「私」の幸福感、「私」の中で変化した檸檬の意味について理解を深めながら読み取っている。【思】 ・「私」の心理の変化をまとめながら、自分にも同様の体験がないか、考えている。【態】	④⑦⑧
12	6				
1	4				

教科名	数学	講座名	数学演習 β	履修区分	普通選択 3D
科目名	発展数学			単位数	4
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	年次に学習した数学Ⅰ・数学Aについての理解をさらに深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	・定期考査 ・小テスト ・問題集の取り組み
【思】	思考・判断・表現	・事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考え方を身に付けている。	・定期考査 ・小テスト ・問題集の取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	・授業への積極的な参加 ・問題集の取り組み

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	数と式	因数分解、実数、命題と論理	・十分条件、必要条件及び必要十分条件の定義を理解している。【知】 ・対偶の定義を理解し、命題の対偶を作ることができる。また、対偶の真偽はもとの命題の真偽と一致することを理解している。【思】 ・因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。【態】 ・文字をおきかえることによって式の展開、因数分解を簡略化することができる。【思】	①②④⑥⑦⑧
5	12	数と式・2次関数	方程式・不等式	・2次方程式の解き方として、因数分解利用、解の公式利用があることを理解している。【知】 ・2次不等式の解と2次関数の値の符号を相互に関連させて考察できる。【思】 2・次不等式を解くときに、図を積極的に利用する。【態】 ・2次不等式を解くことができる。【思】	
6	16	2次関数	グラフ、最大・最小、方程式・不等式	・2次関数が最大値、または最小値をもつことを理解している。【知】 ・2次関数の最大・最小の問題を、図をかいて考察しようとする。【態】 ・2次関数の値の変化をグラフから考察できる。【思】 ・ $y=a(x-p)^2+q$ の形にして、最大値、最小値を求めることができる。【知】	
7	12	図形と計量	三角比、正弦定理・余弦定理	・直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、応用問題に利用できる。【知】 ・正弦定理、余弦定理の図形的な意味を考察しようとする。【態】 ・正弦定理、余弦定理を利用して、三角形の辺の長さ、外接円の半径が求められる。【知】 ・空間図形の応用では、適当な三角形に着目して考察できる。【思】	
8	8	場合の数と確率	集合、順列・組み合わせ、確率、独立な試行	確率の定義、排反事象・余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。【知】 独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができる。また、反復試行の意味を理解し、確率の求め方を組合せの考えと関連付けて理解できる。また、公式を用いて反復試行の確率を求めることができる。【知】 条件付き確率の定義、確率の乗法定理を理解し、確率を求めることができる。【技】	
9	12	データの分析	代表値、分散・標準偏差、相関係数	・データによってどの代表値を用いるのが適切かが異なる場面があることに興味をもち、種々のデータについて考察しようとする態度がある。【態】 ・分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、分散、標準偏差を求めることができる。また、それらを用いてデータの散らばりを比較することができる。【思】 ・2つのデータの相関を求める意味を理解し、散布図をかいて、データの相関を考察することができる。【知】 ・相関係数の意味を理解し、その数値からデータの相関を考察することができる。【態】	
10	16	図形の性質	三角形、円、チェバ・メネラウスの定理	・図形の基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求めることができる。【知】 ・角の二等分線と線分の比の定理、三角形の外心、内心、重心の性質、円周角の定理、円に内接する四角形の性質、接線と弦のつくる角の性質、円と接線の性質、方べきの定理を理解し、それらを用いて辺の長さを求めることができる。【思】 ・2つの円の位置関係と、中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。【態】	
11	12	総合問題	総合問題	数学ⅠA全範囲において発展的な学力を身に付けることができたか【態】	
12	12				
1	8				

教科名	商業	講座名	ビジネス総合Ⅱ	履修区分	普通選択 3D①
科目名	ビジネス総合Ⅱ			単位数	2
教科の目標	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的に、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。				
科目の目標	ビジネスにおける基礎的・基本的な内容を習得させ、経済社会の一員として望ましい心構えを身につけさせる。加えてより専門的な学習への動機付けや卒業後の進路についての生徒の意識を高める。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの意義や役割を理解している。 商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を合理的に適切に処理することができる。	・実技演習 ・実技テスト ・筆記テスト ・検定試験への取り組み
【思】	思考・判断・表現	ビジネスの諸活動に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付け、その成果を的確に表現する。	・実技演習 ・実技テスト ・筆記テスト ・検定試験への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスの諸活動について関心を持ち、その改善や向上を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスに対する望ましい心構えや実践的な態度を身につけている。	・授業態度 ・授業振り返りシート ・課題提出状況 ・検定試験への取り組み

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	商業の学習 ガイダンス 電卓計算能力 ビジネス計算	授業の受け方・1年間の流れ・検定試験への取り組みなど全体像の学習ガイダンス。	商業を学ぶ目的や学び方を理解しているか。【態】 経済社会の一員として望ましい心構えや態度を身につけているか。【思・態】 制限時間内に、正確に正しく計算することができるか。【知】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩
5	6		1. 乗算・除算・見取算・複合算・伝票算 2. 単利計算・手形割引・売買損益の計算・減価償却費の計算	単利法と複利法の違いを理解しているか【知・思】 期首払いと期末払いの違いを理解しているか【知・思】	
6	8		3. 複利年金の計算（選択） 4. 証券投資の計算（選択） 5. 経営分析の計算（選択）	数表の参照方法を理解し、正しく利用できるか。【知・思】 学習内容に沿った知識・技術を身に付けているか。【知・思】	
7	6		全商珠算・電卓検定への取り組み。 全経電卓能力検定への取り組み	学習内容に沿った実技テストを実施する。【知・思】 学習成果の確認や学習習慣の形成の手段として、検定試験を受験する。【知・思・態】	
8	4	ビジネス文書の作成 情報処理	1. データ入力の効率化 2. 改ページ設定、拡大縮小の設定 3. 複数シートの活用	文字データを数値データに変換できるか。【知・思】 行・列の幅の自動調整や、改ページのレイアウトを正しく設定できるか。【知・思】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩
9	6		4. 文書や表の視覚的効果 5. 文字や表の修飾 6. 画像を活用した文書や表の作成	複数シートを利用し、データ入力の効率化を図れるか。【知・思】 数式や関数を正しく選択し、設定することができるか。【知・思】	
10	8		7. データの並べ替え 8. 関数の利用 9. 罫線 10. 第2軸グラフの作成	データの範囲や種類を正しく選択し、2軸グラフを作成できるか。【知・思】 並べ替えの範囲を正しく設定し、求める結果を表示できるか。【知・思】	
11	6		11. 検定試験に対応した筆記学習 全商ビジネス文書検定・情報処理検定への取り組み。 全経情報処理（表計算）検定への取り組み	背景や、データラベルに画像を設定できるか。【知・思】 学習内容に沿った実技・筆記テストを実施する。 各種検定試験を受験する。【知・思・態】	
12	6				
1	4				

教科名	数学	講座名	実用数学 B	履修区分	普通選択 3 D ①
科目名	実用数学			単位数	2
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	数学の基礎計算や基本問題の演習を数多く行い、数学の知識・技能や数学的な見方・考え方を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、解釈したり、表現・処理したりする力を身に付けている。	定期考査 課題提出
【思】	思考・判断・表現	論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を意識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現をする力を身につける。	定期考査 課題提出
【態】	主体的に学習に取り組む態度	積極的に数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、考察・評価・改善する力を身につける。	定期考査 課題提出

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	数的推理	1 次方程式、2 次方程式 不等式、適性検査	文章題から状況を図示するなど正確に把握し、求めるものを文字で設定し立式し解を得ることができるか。【知】 【態】	①④⑧
5	6		速さの3式、旅人算 流水算・通過算、適性検査	速さの基本的な性質を理解しているか。文章題から状況を図示するなど正確に把握し、求めるものを文字で設定し立式し解を得ることができるか。【知】 【態】	①④⑧
6	8		比、濃度、仕事算 場合の数、適性検査	図示などを用いて思考を整理し、求める解にたどり着くことができるか。【思】 【態】	①④⑧
7	6	資料解釈	図表、グラフ適性検査	資料を読み取り、必要な情報を取捨選択して、文章の正誤判断を行うことができるか。【思】 【態】	①④⑧
8	4	判断推理	集合と命題、順序関係 位置・方角、適性検査	文章を正確に読み取り、論理的な思考で解を導くことができているか。【思】 【態】	①④⑧
9	6		対応関係、試合、証言 軌跡、適性検査	文章を正確に読み取り、論理的な思考で解を導くことができているか。【思】 【態】	①④⑧
10	8	数学を用いて 問題解決	数学を用いて日常 にある課題を解決	試行錯誤しながら課題に取り組み、数学の良さを認識することができるか。	③④⑦
11	6		数学を用いて日常 にある課題を解決	試行錯誤しながら課題に取り組み、数学の良さを認識することができるか。	③④⑦
12	6		数学を用いて日常 にある課題を解決	試行錯誤しながら課題に取り組み、数学の良さを認識することができるか。	③④⑦
1	4		数学を用いて日常 にある課題を解決	試行錯誤しながら課題に取り組み、数学の良さを認識することができるか。	③④⑦

教科名	芸術	講座名	書に親しむ	履修区分	3D①
科目名	書に親しむ			単位数	2
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、創造性豊かな感性、表現力を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操、自己肯定力を養う。				
科目の目標	正しい姿勢や筆記具の持ち方を身に付け、暮らしに役立つ筆記能力の向上を目指し、生涯にわたり自他の手書きの文字を愛好する心情を養う。また、書の古典の学習をとおして表現と鑑賞の基礎的能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深め、豊かな情操、自己肯定力を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・正しい姿勢や筆記具の持ち方を身に付け、様々な形式に応じて体裁よく書く筆記能力を備えている。 ・創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かした効果的な表現の技能を身に付け表している。	○ワークシートの記述状況 ○活動の様子（意見交流における発言等） ○作品
【思】	思考・判断・表現	・感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 ・日常の生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。	○ワークシートの記述状況 ○活動の様子（意見交流における発言等） ○作品
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	○ワークシートの記述状況 ○活動の様子（作品制作、鑑賞の取り組み状況）

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	硬筆 ペン字 筆ペン	楷書の基礎 (字形、基本点画)	・毛筆、硬筆の正しい持ち方や用筆・運筆法について理解し、適切に表現することができる。【知】 ・漢字と仮名を調和させて書くことができる。また、手書きの良さを味わっている。【思】 ・主体的に表現、鑑賞の活動に取り組んでいる。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
5	6		行書の基礎 (字形、基本点画)		
6	8		平仮名の基礎、 漢字と仮名の調和		
7	6	古典に親しむ	九成宮醴泉銘、孔子廟堂碑 の鑑賞と臨書	・それぞれの古典の用筆・運筆について理解し、表現することができる。【知】 ・それぞれの古典の特徴を理解し、創造的に構想して表現することができる。また、古典の美を味わい、捉えている。【思】 ・主体的に表現、鑑賞の活動に取り組んでいる。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
8	4		蘭亭序、争坐位文稿 の鑑賞と臨書		
9	6	実用の書	履歴書の書き方 手紙の宛名書き、本文書き 慶弔のことば 感謝状	・それぞれの形式に応じた書き方を理解し、適切に表現することができる。【知】 ・日常の生活の書の効用について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを味わっている【思】 ・主体的に表現、鑑賞の活動に取り組んでいる。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
10	8				
11	6				
12	6	生活を彩る書	自分の目標や志を 書で表現する	・これまでに身につけた表現力を生かし、自らの意図に基づき、適切に表現することができる。【知】 ・感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。書のよさや美しさを創造的に味わっている【思】 ・書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現、鑑賞の活動に取り組んでいる。【態】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩
1	4		好きな俳句を書で表現する 書道パフォーマンス		

教科名	芸術	講座名	美術Ⅲ	履修区分	3D①
科目名	美術Ⅲ			単位数	2
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、主題を生成し発想や構想を練りながら、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	提出作品
【思】	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	構想シート アイディアスケッチ
【態】	主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関り主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	創作活動等に対する取り組む姿勢 課題の提出状況 鑑賞シート

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	【デザイン】 名刺ポスター	自分自身を理解し、色面分割やレタリングを活用してオリジナリティ溢れる名刺ポスターを制作する。	名刺に必要な要素の基本を踏まえ、表現したい「自分」に応じて制作の手順や技法を吟味し、材料の特性を活かすとともに、表現形式の特性を活かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練って制作している。 【知】【思】【態】	③④⑦
5	6				
6	8				
7	6	【絵画】 曲から創造する抽象画	自分の好きな曲から描画材を自由に選択し、イメージに添った色やカタチ・塗り方で抽象絵画を制作する。	抽象絵画の要素を基に、全体のイメージや作風、古典技法について理解し、新たな表現方法を見いだしながら素材を吟味し、材料の特性を生かして形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練って制作している。 【知】【思】【態】	③④⑦
8	4				
9	6	【彫刻】 マグネットフック制作	樹脂粘土を活用し、本物に近い質感表現を目指してマグネットフックを制作する。	それぞれの食べ物の質感を基に、全体のイメージや作風を捉えることを理解し、「いかに本物に近い質感に近づけるか」というテーマから、樹脂粘土の特性を生かして表現方法を創意工夫し、創造的な表現の構想を練って制作している。 【知】【思】【態】	③④⑦
10	8				
11	6	【絵画】 静物画（油絵）	「高校生の自分」をテーマとし、油絵の具を用いて静物画の制作をする。	形や色彩、材料、光などの性質やそれらがもたらす効果、造形的な特徴などをもとに全体のイメージや作風などで捉えることを理解し、意図に応じて材料や油絵具の特性を活かすとともに自己を見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練って制作している。【知】【思】【態】	③④⑦
12	6				
1	4	【絵画】 ゼンタングル アニマル スクラッチ	ゼンタングルを活用し、ニードルを用いて動物のスクラッチ制作をする。	素材や配置の変化、色を与える印象の違いから、全体のイメージや作風、様式などを捉えることを理解し、ニードルを効果的に使用しながらゼンタングル特有の線や模様、表現形式の特性を活かし、形体や構成などについて考え、創造的な表現の構想を練って制作している。 【知】【思】【態】	③④⑦

教科名	保健体育	講座名	生涯スポーツ	履修区分	3年普通
科目名	生涯スポーツ			単位数	2
教科の目標	ニュースポーツやアダプテッドスポーツなどの様々なスポーツ種目を通して、現代社会におけるスポーツの意義を理解し、個人の体力・技能、性別、経験に応じてルールを柔軟に捉えることで、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ姿勢を身につける。				
備考	【履修条件】 特になし				
科目の目標	・ ニュースポーツやアダプテッドスポーツの意義・歴史やルールについて理解する。 ・ 他者を尊重して、技能や体力、経験によらず誰もがスポーツを楽しめるように工夫できる考え方を養う。 ・ 仲間と協働し、安全に配慮しながら主体的にスポーツに取り組む態度を身につける。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【人】	主体的に学習に取り組む態度	互いに協力しながら集団における自己の責任を果たし、一人一人の違いを認め合おうとする態度で授業に臨んでいる。また、健康・安全を確保して運動に取り組んでいる。	学習状況 服装
【思】	思考力・判断力・表現力	多様なスポーツの歴史やルールに触れながら、公平（相対的平等）な考え方で生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための課題や解決方法について考え判断し、他者とのコミュニケーションを図っている。	学習状況 課題レポート
【知技】	知識・技能	多様なスポーツの歴史やルールを理解し、集団やプレイヤーの特性に応じた技能・戦術を身につけている。	学習状況 技能テスト ルールテスト

●留意点

・個人および集団の安全を守るために授業規律を守ること。 ・指定された服装で授業を受けること。 ・授業中に体調が悪くなった場合、速やかに担当教諭に報告し指示を仰ぐこと。 ・入念に準備運動・整理運動を行い、学習環境・施設・道具の安全確認をするなど、常に安全に配慮して授業に取り組むこと。
--

●学習計画

月	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4 5 6	ニュースポーツⅠ	・テニボン ・アルティメット 他	新しく触れるスポーツのルールや歴史を理解し、他者と共に楽しめるように主体的に取り組もうとしている。	①④⑦⑨
7 8 9	アダプテッドスポーツ	・ゴールボール ・シットバレー ・ボッチャ 他	アダプテッドスポーツやパラスポーツのルールや歴史を理解し、人間の多様性を尊重しながらスポーツに取り組もうとしている。	⑥⑦⑩
10 11	ニュースポーツⅡ	・フロアカーリング ・タッチフット 他	新しく触れるスポーツのルールや歴史を理解し、他者と共に楽しめるように主体的に取り組もうとしている。	①④⑦⑨
12 1	スポーツ創造	多様な人が楽しめるように、既存のスポーツをアレンジしたり新種目を考案したりする	様々なスポーツに触れた経験や知識を活かし、仲間との意見交流を経て、多くの人が楽しめるスポーツを作り上げようとしている。	③④⑦⑧

教科名	家庭科	講座名	フードデザイン	履修区分	普通選択3 D②
科目名	フードデザイン			単位数	2
教科の目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ②生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
科目の目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①栄養、食品、献立、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ②食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	栄養、食品、献立、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	定期考査 実技試験の取り組み 実技試験のレポート
【思】	思考・判断・表現	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	定期考査 授業プリントによるレポート 演習課題の取り組み 調理実習のレポート
【態】	主体的に学習に取り組む態度	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	授業ノートの取り組み 調理実習のレポート 定期考査のレポート 演習課題のレポート

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	健康と食生活 栄養素と食品	食事の意義と役割 食を取り巻く現状 栄養素と消化・吸収	毎日の食事にどのような役割があるか理解している【知】 食事の役割をふまえて、自らの食生活を正しく評価している【思】 食事の役割を自分ごととしてとらえ、自分の食生活を見直そうとしている。【態】	①③④⑦
5	6	栄養素と食品 食品とその特徴	各栄養素のはたらき 栄養素の役割 炭水化物（穀物・いも、砂糖） たんぱく質（卵、肉、魚、乳）	からだの構成成分と栄養素について基礎的な知識を身につけている【知】 からだの構成成分と栄養素の働きから、食事の大切さについて考察している【思】 5大栄養素などの種類、役割について食生活と関連づけて関心を持とうとしている。【態】	①③④⑥ ⑦
6	8	栄養素と食品 食品とその特徴	脂質（油脂） ビタミン（野菜、果物、種実） 【前期中間考査】 【実技試験1】	食品の特徴、調理上の性質、調理の特徴や加工などについて理解している。【知】 身の回りの加工食品と、加工の目的を理解している【知】 栄養素と食品の学習を結びつけ、日常の食事の改善点について考える【思】 食品の加工について身近な事例と結びつけて考察している【思】 食品の種類と特徴についての知識を、自分や家族の健康のために活用しようとしている【態】	②③④⑥ ⑦⑨
7	6	栄養素と食品 食品とその特徴	ミネラル（豆、その他） かんてん、ゼラチン		
8	4	栄養素と食品 食品とその特徴	調味料、香辛料 健康食品 【実技試験2】		
9	6	栄養素と食品 食品とその特徴	【前期期末考査】 何をどれだけ食べる？ 日本人の食事摂取基準 食品群別摂取量のめやす ライフステージと栄養	日本人の食事摂取基準や4つの食品群による摂取量のめやすなどを活用し、ライフステージに応じた食事計画を立てる力を身につけている【知】 食事バランスガイドと自分の食生活を結びつけて考察している【思】 各ライフステージにおける栄養素の特徴を知り、それぞれのライフステージに応じた食事計画を活用しようとしている【態】	②③④⑥ ⑦⑨
10	8	栄養素と食品 食品とその特徴 食品の選択と取り扱い	ライフステージと栄養 食品選択のコツ 食品の衛生と安全	生鮮食品の選び方のコツを身につけている【知】 食物アレルギーと表示について理解している【知】 食品を選ぶ際に、安全や衛生に配慮して適切に判断している【思】 食品の衛生に興味を持ち、生活に生かそうとしている【態】	②⑥⑦⑨
11	6	各国料理とコーディネート	日本料理の様式 西洋料理の様式 中国料理の様式 テーブルコーディネート 【後期中間考査】	各様式別料理の特徴や献立構成について理解している【知】 食べる人に配慮した献立やサービスの方法について判断することができる【思】 各様式別料理の献立や作法について興味を持ち、具体的に組み組もうとしている【態】	③④⑤⑦ ⑨
12	6	食育と食育推進活動	食育推進の取り組み 食文化を見つめる 食と環境について考えよう	食育基本法、食育推進計画等の目的や概要を理解している【知】 食と生活の関わりを、郷土料理や季節などを理解しながら考察している【思】 食育を家庭、地域、企業はどのように推進しようとしているかに意識、関心を持ち、主体的に考えようとしている【態】	③⑤⑦⑨
1	4	まとめ・復習	献立作成	食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートについて理解している【知】 食事テーマを具体的に設定し、それに適した献立を考え、適切に食材を選択することができている【思】 食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートに関心を持って取り組もうとしている【態】	③④⑧⑨ ⑩
2					
3		※年間10回程度の調理実習を実施	安全性の向上、栄養性の向上 おいしさの向上 非加熱操作、非加熱調理 加熱操作・加熱調理、調理器具 テーブルコーディネート	安全性、栄養性、おいしさなどの面から、調理の目的を理解している【知】 調理操作が料理のできればえに与える影響を、具体的に考え、工夫している【思】 実際にさまざまな調理操作を自ら試して、積極的に取り組もうとしている【態】	②③⑤⑦ ⑧

教科名	理科	講座名	理科研究	履修区分	3D①
科目名	理科研究			単位数	2
教科の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。				
科目の目標	物理・化学・生物・地学の4領域について、見通しをもって観察、実験、文献調査を行うなどして、理科の見方・考え方を養い、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	物理・化学・生物・地学の4領域について、観察実験を行いながら、自然の事物・現象からの法則や知識に気付いている。	・観察、実験の実技 ・レポート評価 ・成果物評価
【思】	思考・判断・表現	物理・化学・生物・地学の4領域について、因果関係に基づいて結果を予想し、比較・分類・関連付けを行いながら、レポートにまとめている。	・観察、実験の実技 ・レポート評価 ・成果物評価
【態】	主体的に学習に取り組む態度	物理・化学・生物・地学の4領域について、課題解決のために計画を立て、積極的に他者と協働しながら、粘り強く自然の事物・現象の法則や知識を明らかにしようとしている。	・観察、実験の実技 ・レポート評価 ・成果物評価

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	オリエンテーション 理科研究入門	・オリエンテーション ・科学的に探究する意義，手法について ・レポート作成について	【知】レポート作成について，論理的に表現する手法を知っている。	③⑥⑨
5	6	物理学研究	・熱気球製作 ・バタピーと水の沸騰	【知】熱の性質・波の性質・落下運動について，観察実験を行いながら，温度変化と空気密度，カロリーとジュール，弦の長さと振動数，空気抵抗と面積の関係性について理解している。 【思】熱の性質・波の性質・落下運動について，計算結果と比較しながら実験結果をレポートにまとめている。 【主】熱の性質・波の性質・落下運動について，見通しをもって他者と協働し，理解しようとしている。	②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨
6	8		・自作弦楽器と校歌 ・空気抵抗と生卵		
7	6	生物学研究	・ワラジムシの行動観察、実験①	【知】動物の行動や骨格について、観察や実験のデータをもとに体験的な知識として理解している。 【思】問題を見出すための観察により仮設の立て、実験の結果のデータ処理の方法を行い、レポートにまとめている。 【主】実験の題材以外の様々な動物の行動や骨格について自ら理解しようとする。	②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨
8	4		・ワラジムシの行動観察、実験②		
9	6		・骨格標本作り		
10	8	地学研究	・地震における固有振動、共振 ・北海道の火山史	【知】自然災害（地震・火山・気象）について、観察・実験、気象庁等のデータを基に、災害リスクを理解することができる。 【思】データを整理することで得られる結果から考察を行うことができる。 【主】自然災害について興味を持ち、気象災害発生時の安全な行動を意識することができる。	②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨
11	6		・台風の通過と気象の変化		
12	6	化学研究	・布の染色 ・昆布中のヨウ素の単離	【知】身のまわりの化学や酸化還元反応について，観察実験を行いながら，物質の構造や性質、酸化剤と還元剤の液性や電子の移動の関係性について理解している。 【思】身のまわりの化学や酸化還元反応について，物質の性質や構造を考慮しながら実験結果をレポートにまとめている。 【主】身のまわりの化学や酸化還元反応について，見通しをもって他者と協働し，理解しようとしている。	②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨
1	4		・カルピスの成分分析		

教科名	芸術	講座名	音楽Ⅰ	履修区分	3D②
科目名	音楽			単位数	2
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	音楽の基本的な知識や技能を習得し、音楽を形作っている要素や背景にあるものを感じながら創造的に表現する能力を身につける。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	実技（歌唱、器楽演奏・アンサンブル等） 鑑賞 ペーパーテスト
【思】	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	実技（歌唱、器楽演奏・アンサンブル等） 鑑賞
【態】	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業態度、課題提出状況、忘れ物状況

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	オリエンテーション 歌唱 楽譜の理解と演奏	音楽Ⅰについて、校歌、読譜練習	・様々な表現形態による歌唱活動に関心をもち、それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。【態】 ・声を合わせる活動に関心をもち、それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。【態】 ・リズム、旋律、テクスチュア、強弱を知覚することができる。【知】 ・音楽を構成する要素が生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、歌詞の内容をかかわらせて、様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現を工夫して、どのように歌うか表現意図をもっている。【思】 ・曲想を歌詞の内容とかわらせて、イメージをもって音楽表現をするために、必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。【知】 ・音楽の多様性を理解し、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。【思】	①③⑥⑦⑨
5	6	歌唱 器楽 楽譜の理解と演奏 鑑賞	校歌、斉唱、合唱 読譜練習、鑑賞		
6	8				
7	6				
8	4		校歌、斉唱、合唱 読譜練習、鑑賞、器楽基礎練習		
9	6	歌唱 器楽 創作 鑑賞	校歌、斉唱、合唱 器楽、創作、鑑賞	・楽器の基礎的な奏法を身に付けて、それらを生かして演奏することに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。【知】【態】 ・グループで合奏することに関心をもち、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、主体的に取り組もうとしている。【態】 ・楽器の音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、様々な表現形態の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するか表現意図をもっている。【思】 ・楽器の奏法やその特徴を生かした音楽表現をするために、必要な楽器の技能を身に付け、創造的に表している。【知】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、舞台芸術の特徴を理解し、それらの価値を考えて音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。【知】【思】	①②③④⑥ ⑦⑧⑨⑩
10	8				
11	6				
12	6				
1	4				

教科名	芸術	講座名	美術Ⅰ	履修区分	3D②
科目名	美術Ⅰ			単位数	2
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、主題を生成し発想や構想を練りながら、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	提出作品
【思】	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	構想シート アイディアスケッチ
【態】	主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関り主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	創作活動等に対する取り組む姿勢 課題の提出状況 鑑賞シート

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	【絵画】 鉛筆デッサン	鉛筆デッサンの基本	形や光、陰影、質感、造形的な特徴を基に、用具の特性を生かしながら、構成などについて考え、表現方法を創意工夫し制作しようとしている。【知】【思】【態】	③ ④⑦
5	6				
6	8	【絵画】 ペン画 コラージュ	色画用紙を選択し、割り箸ペ ンで描いたクロッキー作品で コラージュを行う。	・素材や配置の変化、色を与える印象の違いから全体のイメージを捉え、ペン画を基にテーマ（主題）を生成し、構成などについて考え、表現方法を創意工夫し制作しようとしている。【知】【思】【態】	③ ④⑦
7	6				
8	4	【デザイン】 平面構成	色の仕組み・平面構成 絵の具の使い方・混色方法に ついて理解し、条件に従って 幾何形体による平面構成を行 う。	・色の仕組みや混色について理解し、ア クリル絵の具の特性を生かしている。 【知】 ・与えられた条件から、円と線の構成を 考え、見やすい構図を組み立て制作し ようとしている。【知】【思】【態】	③ ④⑦⑨
9	6				
10	8	【絵画】 エコバッグ	布用絵の具を混色し、エコ バッグ（帆布）にステンシル （孔版）を施す。	・布用絵の具の使い方を理解し、表現方 法を創意工夫しながら、デザインに応じ て型の構成を練っている。【知】【思】 ・デザインを生かし、バッグの配色やグ ラデーション等の構想を練り制作し ようとしている。【思】【態】	③ ④⑦⑨
11	6				
12	6	【絵画】 自画像 （油絵）	油絵の具の特性を生かしなが ら、自分のイメージした自画 像の制作をする。	・油絵の具の特性を理解するとともに、 意図に応じて表現方法を創意工夫し、表 している。【知】 ・自己を見つめ感じ取ったことや考えた こと等から、量感、光と陰影、表現の構 想を練り、制作しようとしている。 【思】【態】	①③ ④⑦⑨
1	6				
1	6	ポートフォリオ制 作	タブレットを用いて、今まで制 作した作品をまとめた作品集制 作をおこなう。	ポートフォリオを通してそれまでの制作、 自分を見つめなおすことを理解し、作品の 写真や解説、細部などの付加情報、文字の 組み方・囲みなどを効果的に用いるなど、 表現の構想を練り制作しようとしている。 【知】【思】【態】	①③④⑦ ⑧

教科名	芸術	講座名	書道Ⅰ	履修区分	3D②
科目名	書道Ⅰ			単位数	2
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	書道の幅広い活動を通して、書に対するものの見方・考え方を働かせ、効果的に表現するための基礎的な知識を身に付け、意図に基づき、効果的な技能を身に付け、意図に基づいて構想し表現を工夫する資質を育成し、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の幅広い活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	○ワークシートの記述状況 ○活動の様子（意見交流における発言等） ○作品
【思】	思考・判断・表現	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えている。	○ワークシートの記述状況 ○活動の様子（意見交流における発言等） ○作品
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・書の伝統と文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	○ワークシートの記述状況 ○活動の様子（作品制作、鑑賞の取り組み状況）

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	書の美を求めて 漢字の書の学習	用具・用材、姿勢・執筆 古典の学び方 書体の変遷 拓本と碑について	・正しい姿勢・執筆や用具の扱い方を身に付け、用具・用材を工夫することで作品にさまざまな表現効果をもたらすことを理解している。【知】【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	②⑥
5	6	楷書の学習	さまざまな楷書 唐の四大家 九成宮醴泉銘/孔子廟堂碑 雁塔聖教序/顔氏家廟碑 北魏の書 牛橛造像記/鄭義下碑	・それぞれの楷書の特徴や古典の書風の特徴を理解し、表現しようとしている。【知】【態】 ・欧陽詢、虞世南の楷書の用筆・運筆、字形の特徴を理解し、表現することができる。【知】【思】 ・褚遂良、顔真卿の楷書の用筆・運筆、字形の特徴を理解し、表現することができる。【知】【思】 ・方勢、円勢の趣を理解し、表現することができる。【知】【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
6	8				
7	6	行書の学習	さまざまな行書 行書の特徴 王羲之と顔真卿の行書 蘭亭序/祭姪稿 日本の行書 風信帖/三筆、三跡の書	・それぞれの行書の特徴や古典の書風の特徴を理解し、表現しようとしている。【知】【態】 ・蘭亭序、祭姪稿の用筆・運筆、字形の特徴を理解し、表現することができる。【知】【思】 ・風信帖、三筆、三跡の用筆・運筆、字形の特徴を理解し、表現することができる。【知】【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
8	4				
9	6	篆書の学習	篆書（小篆）の特徴 泰山刻石	・篆書の特徴を理解し、表現しようとしている。【知】【態】 ・泰山刻石の用筆・運筆、字形の特徴を理解し、表現することができる。【知】【思】 ・篆刻の用具・用材手順について理解しようとしている。【態】 ・印稿をもとに手順に従って姓名印を完成させることができる。【知】【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
10	8	篆刻の学習	篆刻の用具・用材 姓名印を刻る		
11	6	隸書の学習 草書の学習	隸書の特徴 曹全碑/居延漢簡 草書の特徴 書譜 漢字創作	・隸書の特徴を理解し、表現しようとしている。【知】【態】 ・曹全碑、居延漢簡の用筆・運筆、字形の特徴を理解し、表現することができる。【知】【思】 ・古典の鑑賞や臨書をとおして身につけた表現方法をもとに表現を工夫して創作することができる。【知】【思】【態】 ・仮名の成立、発達について理解し、仮名の書の美を味わおうとしている。【態】 ・仮名の字形の変化や運筆について理解を深め、連綿や構成を工夫して制作することができる。【知】【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①②③④ ⑥⑦⑧⑨
12	6	漢字の書の制作 仮名の書の学習	仮名の成立と発達 蓬萊切/高野切第三種 仮名の書の制作		
1	4	漢字仮名交じりの書の学習	言葉表現する 感動や思いを表現しよう 作品の表現意図を考える 名筆に学ぶ表現の工夫 用具・用材、全体構成の工夫 漢字仮名交じりの書の表現と鑑賞	・素材となる言葉を理解し、思いを深め、表現を工夫しようとしている。【態】 ・制作の意図に応じて、適切に用具・用材、運筆・用筆を工夫している。【思】【表】 ・全体構成や文字の大きさを工夫して、これまでに学習してきた書風を生かし、表現意図に合うように効果的に表現している。【知】【思】【態】 ・筆者の制作意図を想像しながら、漢字仮名交じりの書を鑑賞することができる。【知】【思】【態】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩

教科名	理科	講座名	物理	履修区分	3 X
科目名	物理			単位数	4
教科の目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
科目の目標	基礎内容だけでなく、発展的内容にも触れながら物理学の原理・法則を学習し、実験・観察を行うことで、自然現象を物理学的な観点で思考・解析・探究する。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察、実験を行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	①自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているかについて、発言や記述の内容、ペーパーテスト等から状況を把握する。 ②観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理、資料の活用の仕方などを身に付けているかについて、行動の観察や記述の内容、パフォーマンステスト、ペーパーテストなどから状況を把握する。
【思】	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を解釈し表現するなど、科学的に探究する過程において思考・判断・表現しているかを、発言や記述の内容、ペーパーテストなどから状況を把握する。
【態】	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているかを、発言や記述の内容、行動の観察などから状況を把握する。

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	力と運動	・平面内の運動・剛体・運動量の保存 ・円運動と万有引力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。【思】 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。【知】	⑥⑦⑨
5	12	熱と気体	・気体のエネルギーと状態変化	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。【知】	⑥⑦⑨
6	16	波	・正弦波 ・ドップラー効果 ・光	観察、実験を行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。【観】	⑥⑦⑨
7	12	電気と磁気	・電場・電流 ・電流と地場・電磁誘導と交流	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。【思】 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。【知】	⑥⑦⑨
8	8				
9	12	原子	・電子と光 ・原子と原子核	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。【関】 自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。【知】	⑥⑦⑨
10	16				
11	12	問題演習	・入試対策	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。【思】 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。【知】	①②③
12	12				
1	8				
2	12				
3	8				

教科名	理科	講座名	生物 α	履修区分	3Z
科目名	生物			単位数	5
教科の目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、 目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
科目の目標	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。 ・生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	授業への取り組み ルーブリック 単元テスト
【思】	思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	授業への取り組み ルーブリック 単元テスト
【態】	主体的に学習に取り組む態度	生物や生命現象に関心や探究心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	授業への取り組み ルーブリック 単元テスト

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	15	細胞と分子	・タンパク質の構造と性質・酵素の働き ・細胞の活動とタンパク質	・生命現象を支える物質の働きについて観察、実験などを通して探究し、タンパク質や核酸などの物質の働きを理解し、生命現象を分子レベルでとらえる。【関・知・観】 ・酵素の働きと、タンパク質の立体構造の関係を理解することができる。【関・知・思】	①②⑦
5	15	代謝	・呼吸と発酵 ・光合成・窒素同化		
6	20	代謝遺伝情報の発	・DNAの構造と複製・遺伝子の発現調節 ・バイオテクノロジー	・DNAの複製の仕組み、遺伝子の発現の仕組み及び遺伝情報の変化を理解する。【関・知】 ・遺伝子の発現が調節されていること及びその仕組みの概要を理解し、遺伝子を扱った技術について、その原理と有用性について考察できる。【関・知・思】	①③⑦
7	15	生殖と発生	・遺伝子と染色体・減数分裂と遺伝情報の分配 ・遺伝子の多様な組み合わせ ・動物の配偶子形成と受精・初期発生の過程 ・細胞の分化と形態形成・植物の発生	・生物の生殖や発生について観察、実験などを通して探究し、動物と植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを理解する。【関・知】 ・胚の前後軸の決定、細胞分化や形態形成に遺伝子の働きが関与していることを導き出す事ができる。【関・知・思】	①②⑦
8	10				
9	15	動物の反応と行動	・ニューロンとその興奮・刺激の受容 ・情報の統合・刺激への反応・動物の行動	・外界の刺激を受容し、神経系を介して、反応する仕組みを理解する。【関・知・思・観】 ・刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解し考察することができる。【関・知・思】	①②⑦⑨
10	20	植物の環境応答	・植物の反応・成長の調節 ・花芽形成と発芽の調節	・植物が環境変化に反応する仕組みを理解する。【関・知】	③⑥
11	15	生物群集と生態系	・個体群・個体群内の個体間の関係 ・生態系における物質生産・生物多様性	・生物の個体群と群集及び生態系について観察、実験などを通して探究することができる。【関・知・思】 ・生態系の構造や変化の仕組みを理解し、生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識する。【関・知・思】	①④⑤⑦
12	15	生命の起源と進化	・生命の起源 ・生物の変遷進化の仕組み	・生物の進化の過程とその仕組みから、生物界の多様性と系統を理解し、進化についての考え方を身に付ける。【関・知・思・観】 ・生物の変遷を地球環境の変化に関連付けることができる。【関・知・思】	①②⑦⑧
1	10	生物の系統	・生物の分類と系統	・生物はその系統に基づいて分類できることを理解する。【関・知・思】	①⑥⑦
2	15				
3	10				

教科名	地理歴史	講座名	日本史探究αⅡ	履修区分	特進選択 3X
科目名	日本史探究			単位数	4
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	①学習評価（生徒） （1）パフォーマンス評価（自己、相互） （2）成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） （1）パフォーマンス評価 （2）成果物評価 （3）査査評価
【思】	思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	①学習評価（生徒） （1）パフォーマンス評価（自己、相互） （2）成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） （1）パフォーマンス評価 （2）成果物評価 （3）査査評価
【態】	主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	①学習評価（生徒） （1）パフォーマンス評価（自己、相互） （2）成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） （1）パフォーマンス評価 （2）成果物評価 （3）査査評価

●学習計画 ※単元内容の実施時期、時数の変更の可能性があります。

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	C 近世の日本と世界 (1)近世への転換と歴史的環境 (2)歴史資料と近世の展望	・オリエンテーション ・近世の幕開け ・資料読解	【知】織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 【思】時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【主】戦国時代から織豊政権にかけての歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	④⑦⑧⑨
5	12	(3)近世の国家・社会の展望と画期(歴史の解釈、説明、論述)	・幕藩体制の成立と展開 ・幕藩体制の動揺	【知】幕藩体制の展開など近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	④⑦⑧⑨
6	16	D 近現代の地域・日本と世界 (1)近代への転換と歴史的環境	・近世から近代へ ・近代国家の成立	【知】幕末の動乱から明治政府の成立過程と諸文化の形成などを基に、近世から近代の政治・社会や文化の特色を理解している。 【思】中国大陸・朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、近世の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主】東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	④⑦⑧⑨
7	12				
8	8	(2)歴史資料と近代の展望	・近代国家の展開 ・近代の産業と生活 ・資料読解	【知】明治・大正時代の諸政策並びに対外戦争などを通して、日本は国際関係の中でいかに行動し、新たな国際関係を構築した過程・要因等について理解している。 【思】時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【主】近世との比較などを通して、近代の特色を主体的に探究しようとしている。	④⑦⑧⑨
9	12				
10	16	(3)近現代の地域・日本と世界の画期と構造	・恐慌と第二次世界大戦 ・占領下の日本	【知】近現代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近現代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	④⑦⑧⑨
11	12	(4)現代の日本の課題の探究	・高度成長の時代 ・激動する世界と日本	【知】第二次世界大戦後、日本の政治・経済・社会・文化はどのように変化し、展開してきた過程や要因について理解している。 【思】戦後の国際情勢の変化に着目して、主題を設定し、近現代の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主】国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを主体的に見出そうとしている。	④⑦⑧⑨
12	12				
1	8	・まとめと問題演習	・現代日本の課題の探究	【知】古代から現代に至るまでの我が国の歴史について、その時々国際情勢の変化と関連づけながら多角的に理解している。 【思】歴史資料を活用しながら現代日本の課題について多面的に考察している。 【表】現代日本の課題について、自分が関心のある課題について主体的に考察することができる。	④⑦⑧⑨

教科名	地理歴史	講座名	世界史探究（αⅡ）	履修区分	3年特進 選択X
科目名	世界史探究			単位数	4
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件やわが国の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	①学習評価（生徒） （1）パフォーマンス評価（自己、相互） （2）成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） （1）パフォーマンス評価 （2）成果物評価 （3）査査評価
【思】	思考・判断・表現	世界の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	①学習評価（生徒） （1）パフォーマンス評価（自己、相互） （2）成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） （1）パフォーマンス評価 （2）成果物評価 （3）査査評価
【態】	主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵（かん）養される日本国民としての自覚、歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	①学習評価（生徒） （1）パフォーマンス評価（自己、相互） （2）成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） （1）パフォーマンス評価 （2）成果物評価 （3）査査評価

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	第Ⅱ部諸地域の交流・再編	・イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・イスラーム教の伝播と西アジアの動向	各時代・地域における基礎知識を身につけ、授業の問いに対して資料などから判断し、グループでの討論を行いながら、さらに発展した知識により新たな課題を見つけ解決する力を身につける。 【知識・技能/思考・判断・表現/主体的に学習に取り組む態度	④⑤⑥⑦ ⑧⑨
5	12		・ヨーロッパ世界の変容と展開 ・東アジア世界の展開とモンゴル帝国		
6	16		・大交易・大交流の時代 ・アジア諸帝国の繁栄		
7	12		・近世ヨーロッパ世界の動向 ・イスラーム教の伝播と西アジアの動向		
8	8	第Ⅲ部諸地域の結合・変容	・産業革命と環大西洋革命		
9	12		・イギリスの優位と欧米国民国家の形成		
10	16		・アジア諸地域の動揺 ・帝国主義とアジアの民族運動		
11	12		・第一次世界大戦と世界の変容		
12	12		第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成		
1	8	第Ⅳ部 地球世界の課題	冷戦と第三世界の台頭		

教科名	数学	講座名	数学Ⅲ	履修区分	特進選択 3 Y①
科目名	数学Ⅲ			単位数	4
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・極限、微分法及び積分法における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	・定期考査 ・演習発表
【思】	思考・判断・表現	・事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、極限、微分法及び積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	・定期考査 ・演習発表
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・極限、微分法及び積分法に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	・授業への積極的な参加 ・演習発表

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	関数	分数関数、無理関数、逆関数と合成関数	・分数関数，無理関数の定義を理解し，グラフがかけられる。【知】【思】【態】 ・逆関数，合成関数の概念を理解し，問題を解決できる。【知】【思】【態】	①②③④⑥ ⑦⑧
5	12	極限	数列の極限、関数の極限	・数列の収束，発散を調べ，極限を求められる。【知】【思】【態】 ・級数の概念を理解し，収束・発散について調べられる【知】【思】【態】 ・関数の収束，発散を調べ，極限を求められる。【知・見・技】 ・関数の連続性を判定できる。【知】【思】	①②③④⑥ ⑦⑧
6	16	微分法	導関数、いろいろな関数の導関数	・様々な導関数の概念を理解し，具体的に導関数を求められる。【知】【思】【態】	①②③④⑥ ⑦⑧
7	12				
8	8	微分法の応用	導関数の応用、いろいろな応用	・導関数を用いて，数学的な諸問題を解決できる。【知】【思】【態】	①②③④⑥ ⑦⑧
9	12	積分法とその応用	不定積分、定積分、積分法の応用	・様々な積分の概念を理解し，具体的に不定積分や定積分を求められる。【知】【思】【態】	①②③④⑥ ⑦⑧
10	16			・積分を用いて，数学的な諸問題を解決できる。【知】【思】【態】	
11	12	総合問題	総合問題	・授業で修得した知識・技術を活用し，数学的に複雑な問題を解決できる。【知】【思】【態】	①②③④⑥ ⑦⑧
12	12				
1	8				

教科名	数学	講座名	数学演習 α	履修区分	数学特進 3 Y①
科目名	発展数学			単位数	4
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	2年次までに学習した数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bについての理解をさらに深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	・定期考査 ・演習発表
【思】	思考・判断・表現	・事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、極限、微分法及び積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	・定期考査 ・演習発表
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	・授業への積極的な参加 ・演習発表

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	2次関数 三角比	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cの 単元別の復習	・単元ごとの問題に対し、授業で学んだ知識や技能を振り返って解決の方針を見出し、それを実践して解答を導くことができる。【知】【思】【態】	①②③④⑥ ⑦⑧⑨
5	12	三角関数 指数対数			
6	16	微分積分・確率			
7	12	ベクトル データの分析			
8	8	数列			
9	12	二項定理・軌跡			
10	16	総合問題	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cの総合問題	・複数の単元にまたがる、数学的に複雑な問題に対し、授業で学んだ知識や技能を駆使して解決の方針を見出し、それを実践して解答を導くことができる。【知】【思】【態】	
11	12				
12	12				
1	8				

教科名	数学	講座名	数学B α	履修区分	数学特進 3 Y②
科目名	数学B			単位数	1
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	確率分布と統計的な推測についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・極限，微分法及び積分法における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。	・定期考査 ・演習発表
【思】	思考・判断・表現	・事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，極限，微分法及び積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	・定期考査 ・演習発表
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・極限，微分法及び積分法に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	・授業への積極的な参加 ・演習発表

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	確率分布と統計的な推測	確率分布 正規分布 統計的な推測	・確率変数の平均、分散、標準偏差を求めることができる。【知】 ・二項分布から平均と分散を求めることができる。二項分布を正規分布により近似することができる【思】 ・母集団から、母平均と母比率を推定することができ、それらを利用して仮説検定をすることができる。【知】	③④⑦⑨
5	3				
6	4				
7	3				
8	2				
9	3				
10	4	総合問題	総合問題	・授業で修得した知識・技術を活用し、数学的に複雑な問題を解決できる。【知】【思】【態】	①②③④⑥⑦⑧
11	3				
12	3				
1	2				

教科名	数学	講座名	数学C α	履修区分	数学特進 3 Y②
科目名	数学C			単位数	1
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	複素数と平面上の曲線についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・極限，微分法及び積分法における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。	・定期考査 ・演習発表
【思】	思考・判断・表現	・事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，極限，微分法及び積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	・定期考査 ・演習発表
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・極限，微分法及び積分法に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	・授業への積極的な参加 ・演習発表

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	複素数平面	複素数平面、極形式 ド・モアブルの定理	・複素数の演算の、複素数平面における図形的意味を理解できる。【知】【思】【態】 ・複素数平面上の図形に現れる角や辺の長さの比を考察し、活用できる。【知】【思】	③④⑦⑨
5	3				
6	4				
7	3	平面上の曲線	2次曲線 媒介変数表示と極座標	・2次曲線の概形をかくことができる。【知】【思】 ・媒介変数を用いて曲線を考えられ、極座標と直交座標の関係を活用して問題を解決できる。【知】【思】【態】	③④⑦⑨
8	2				
9	3				
10	4	総合問題	総合問題	・授業で修得した知識・技術を活用し、数学的に複雑な問題を解決できる。【知】【思】【態】	①②③④⑥⑦⑧
11	3				
12	3				
1	2				

教科名	国語	講座名	3Y②実用国語	履修区分	特進選択
科目名	実用国語			単位数	2
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を各科目の目標が示すとおり育成することを目指す。				
科目の目標	これまでの学習で培った国語の知識・技能や思考・判断・表現礎に、様々な情報を適切に判断し、筋道立てて物事について考え、効果的に表現する能力を伸ばし、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけている。 国語の知識や技能を使って、適切に表現することができる。	・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【思】	思考・判断・表現	目的や場面に応じて、効果的に話したり、書いたり表現できる。 情報を的確に読み取り、客観的に考えることができる。	・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、言語力の向上に努めようとする態度を養う。	・ 学習への取り組み方の観察 ・ リフレクションカードの点検

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	小論文の書き方Ⅰ	①原稿用紙の使い方や表記の決まり ②適切な書き言葉と係り受け ③要約の方法を学ぶ	①原稿用紙や表記の決まりを理解している。【知】 ②書き言葉として適切な表現を身に付けている。【知】 ③筆者の主張を的確に読み、まとめることができる。【思】	④
5	6	ディベートに挑戦しようⅠ	①ディベートの意義 ②マイクロディベートに取り組む	①ディベートの意義を理解している。【知】 ②テーマを多角的な視点で捉え、賛否の両側面から自分の考えを述べるができる。【思】	④⑦⑧⑨
6	8	小論文の書き方Ⅱ	①小論文の構成方法 ②自分の考えをまとめる発想の方法 ③テーマ型小論文に取り組む	①小論文に書くべき要素や構成法を理解している。【知】 ②テーマに沿って筋道を立てて自分の主張を述べるができる。【思】	④⑦⑧⑨
7	6	ディベートに挑戦しようⅡ	①ディベートのルール ②情報収集と論の構築 ③ディベートに取り組む（第1回）	①ディベートのルールを的確に理解している【知】 ②信頼性の高い情報を収集し、論を強化している。【話】 ③他者の発言に込められた考えを的確に捉え、論理的に意見を述べるができる。【思】	④⑦⑧⑨
8	4	小論文の書き方Ⅲ	①課題文の読み取りと要約 ②課題文型小論文に取り組む ③図表の読み取りと論の構築 ④データ型小論文に取り組む	①筆者の論を的確に捉え、要約できる。【思】 ②構成、構文を適切に用い、自分の主張を効果的に表現することができる。【思】 ③表やグラフの特徴を適切に読み取り、表現できる。【思】 ④図表から読み取ったことをきっかけに、自らの考えを構築し、的確に表現することができる。【思】	④⑦⑧⑨
9	6				
10	8	ディベートに挑戦しようⅢ	①情報収集と論の構築 ②ディベートに取り組む（第2回）	①収集した情報を有効に活用して論を構築している。【思】 ②他者の発言に込められた考えを的確に捉え、論理的に筋道の通った意見を述べることができる。【思】	④⑦⑧⑨
11	6				
12	6	演習大学入学共通テスト演習	①論理的、文学的、実用的な文章にふれながら、現代文の読解法に習熟する。 ②リフレクションを通じて学習法の調整を図る。	①既習の読解技術を駆使して読解法を自分のものとする。【思】 ②取り組みとその復習を振り返り、学習改善を図る。【関】	①⑥
1	4				

教科名	公民	講座名	倫理	履修区分	必修
科目名	倫理			単位数	2
教科の目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめることができる。	・単元テスト ・レポート、ワークシート、リフレクションシートの成果物評価 ・ポートフォリオ評価 ・ループリック評価 ・原典資料や図表、芸術作品、実験・観察・統計的なデータからの読み取り
【思】	思考・判断・表現	・自立した人間として、他者と共によりよく生きる自己の生き方について、より深く思索することができる。 ・現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、理論的に思考し、説明したり対話したりすることができる。	・単元テスト ・レポート、ワークシート、リフレクションシートの成果物評価 ・ポートフォリオ評価 ・ループリック評価 ・原典資料や図表、芸術作品、実験・観察・統計的なデータからの読み取り
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。 ・多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。	・授業の取り組み ・レポート、ワークシート、リフレクションシートの提出状況 ・ポートフォリオ評価 ・ループリック評価

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	第1編 現代を生きる自己の課題	第1章 個性的な主体としての自己 第2章 心と行動をめぐる探究	・欲求、感情、認知、発達に関するさまざまな心理学的な知見を理解し、個性や人間の行動を説明することができる。【知】 ・パーソナリティに関する理論を手がかりにして、自己の課題や人間としての在り方生き方について追究しようとしている。【主】	①②③⑦
5	6	第2編 人間としての自覚	第1章 哲学の始原 第2章 唯一神の宗教	・人間の存在や価値に関わる基本的な課題を探究する学習に役立つ情報を適切に選択して活用している。【知】 ・先哲の思想を手掛かりとして人間としての在り方や生き方について考えることができる。【思】 ・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について追究しようとしている。【主】	③④⑦⑧
6	8		第3章 東洋思想の源流 第4章 芸術と倫理		
7	6	第3編 現代をかたちづくる倫理	第1章 近代の成立 第2章 世界と人間をめぐる探究 第1節 人間の尊厳 第2節 真理の認識	・西洋思想を通して人間の存在や価値に関わる基本的な課題を探究する学習に役立つ情報を適切に選択して活用している。【知】 ・先哲の思想を手掛かりとして人間としての在り方や生き方について考えることができる。【思】 ・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について追究しようとしている。【主】	④⑥⑨⑩
8	4		第3節 民主社会と倫理 第4節 現代社会と個人		
9	6		第5節 近代の世界観		
10	8	第4編 国際社会に生きる日本人としての自覚	第1章 日本の風土と精神文化 第1節 日本人の人間観・自然観・宗教観 第2節 日本人の仏教受容	・わが国の風土や伝統について、日本人にみられるものの見方や考え方を理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けることができる。【知】 ・古代の日本人の考え方を手掛かりとして、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について、多面的・多角的に考察し、表現できる。【思】 ・日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりにおいて捉え、主体的に探究している。【主】	⑤⑦⑧⑨
11	6		第3節 近世社会の倫理		
12	6		第2章 日本の近代化と人々の生き方 第1節 西洋近代精神の摂取 第2節 近代的個人の自覚 第3節 主体的な生き方と価値		
1	4	第5編 現代における諸課題の研究	第1章 自然や科学技術をめぐる諸課題 第2章 社会や文化にかかわる諸課題	・現代に生きる人間としての自己の在り方生き方について、主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を、筋道を立てて適切に表現している。【思】 ・現代の倫理的課題に対し、自己との関わりにおいて捉え、主体的に探究している。【主】	③④⑥⑩
2	6				
3	4				

教科名	国語	講座名	3 Z古典習熟	履修区分	選択
科目名	古典習熟			単位数	2
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を各科目の目標が示すとおり育成することを目指す。				
科目の目標	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。【知】 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思】 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【態】				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・ 考查 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【思】	思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	・ 考查 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ 学習への取り組み方の観察 ・ リフレクションカードの点検

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	用言の習熟	・用言の活用と文法事項の定着 ・随筆の読解	・古典に用いられている語句の意味や用法、特に用言の活用と文中での働きを正しく理解している。【知】 ・随筆という文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確に捉え、主題を理解している。【思】 ・文法事項や文章理解に対する自分の学習成果を客観的に捉え、足りない点を把握し、粘り強く取り組むことができる。【態】	①⑥
5	6	付属語の習熟	・各種助動詞の活用 ・助動詞の文法事項 ・助詞の文法事項 ・歴史物語の読解	・古典に用いられている語句の意味や用法、特に付属語の種類と文中での働きを正しく理解している。【知】 ・貴族社会の華やかさと厳格で繊細な人物同士の関係性を理解しながら読み味わうことができる。【思】 ・文法事項や文章理解に対する自分の学習成果を客観的に捉え、足りない点を把握し、粘り強く取り組むことができる。【態】	①⑥
6	8			・文法事項や文章理解に対する自分の学習成果を客観的に捉え、足りない点を把握し、粘り強く取り組むことができる。【態】	①⑥
7・8	8	漢文句法の習熟	・主要な漢文句法 ・主要な漢文語彙 ・史伝・思想の読解	・文章の構成や展開のしかた、また時代背景や思想などについて正確に理解し、説明している。【知】 ・作品の成立した時代背景、また孔子や老荘思想などとの関係を正確に理解し、説明している。【思】 ・「英雄譚」、「思想」に興味を持ち、読書を楽しむ姿勢で訓読しようとしている。【態】	①⑥
9	6	和歌の修辭の習熟	・和歌の修辭 ・源氏物語の読解	・和歌の修辭を理解し、詠み手の心情を理解している。【知】 ・登場人物の人物像を容貌、言動、人間関係などをふまえて説明している。【思】 ・平安時代の貴族社会の在り方や古文常識をふまえて、和歌から登場人物の境遇や心情を捉えようとしている。【態】	①⑥
10	8	敬語の習熟	・敬語文法の定着 ・歴史物語、源氏物語の読解	・敬語の種類が分かり、動作主と動作の受け手を判断しながら読み進めることができる。【知】 ・貴族社会の華やかさと厳格で繊細な人物同士の関係性を理解しながら読み味わうことができる。【思】 ・登場人物と自分を比べるなどして、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。【態】	①⑥
11	6	語の識別の習熟	・語の識別に関する知識の定着 ・学習内容に適した諸文章の読解	・意味の判別の難しい言葉や表現について、接続や文の構造に着目して適切に理解することができる。【知】 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することをおして、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。【思】 ・文法事項や文章理解に対する自分の学習成果を客観的に捉え、足りない点を把握し、粘り強く取り組むことができる。【態】	①⑥
12・1	10	文章読解の習熟	・全ての学習内容を応用した演習	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【知】 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することをおして、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。【思】 ・文法事項や文章理解に対する自分の学習成果を客観的に捉え、足りない点を把握し、粘り強く取り組むことができる。【態】	①⑥

教科名	理科	講座名	発展化学	履修区分	3 Z
科目名	発展化学			単位数	4
教科の目標	自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な基礎的な知識や能力、態度を育成する。				
科目の目標	化学基礎、化学において学習した内容を整理するとともに、各単元における発展的内容への理解を深め、課題や実験において化学の見方・考え方をはたらかせることで、より多様な事象に応用する力を育む。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	単元テスト、定期考査の結果 実験記録の内容
【思】	思考・判断・表現	化学の事物・現象から問題を見だし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	単元テスト、定期考査の結果 実験記録の内容
【態】	主体的に学習に取り組む態度	化学的な事物・現象に主体的に関わり，見通しをもって振り返ったりするなど，科学的に探究しようとする態度を養う。	課題への取り組み 振り返りの記録

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	状態変化	状態変化にかかわる時間とエネルギーの関係 状態変化と密度、状態図	化学基礎の知識と化学の知識を関連付けながら、状態変化について、グラフや表の情報を正確に読み取り、分子量や分子間力、沸点など総合的・多角的な観点から現象を捉えることができる。〔思〕	
5	12	物質の三態	物質の分類と分離・精製 気体・液体・固体の振る舞いや溶解	気体や溶液に共通する性質を踏まえ、提示される数値を的確に関連づけ、現象の説明に落とし込むことができる。〔思〕 立体的な想像力を向上させ、原子・イオンの結晶構造について説明できる。〔知〕	
6	16	エネルギー	化学反応とエンタルピー 電子の授受と電気エネルギー、エネルギー変換	エンタルピー変化や酸化還元反応を活用した装置について説明するとともに、核化学反応を化学反応式に表すことができる。〔知〕 エネルギー変化や電子の移動について、量的関係を考えることができる。〔思〕	
7	12	速度と平衡	グラフや表を用いた速度の分析 化学平衡の移動と平衡定数 反応速度と化学平衡の関係	グラフや表から正確に数値を読み取り、化学反応を思考したり、情報処理によって量的な観点から反応を説明できる。〔思〕 反応速度・化学平衡を正しく理解し、条件変化による化学変化の応答を予想・説明できる。〔知〕 温度・濃度・触媒など、化学変化に関わる要素を踏まえながら、化学反応の進行にどのように関わっているのかを理解・説明しようとしている。〔態〕	
8	8	速度と平衡			
9	12	無機化学	物質の性質と反応性 系統分析への応用	無機物質の性質を理解し、それぞれの元素、単体、化合物の特徴について説明できる。〔知〕 無機物質の性質を踏まえた上で、起こりうる化学反応の化学反応式を表すことができる。〔思〕	
10	16	有機化学	有機化学反応、構造決定、定量分析 脂肪族・芳香族における定性分析	有機化合物の性質について、共通点と相違点を整理して理解している。〔知〕 有機化合物の構造と性質の関連性について整理して理解し、説明することができる。〔思〕	
11	12	高分子化合物	天然高分子化合物の反応性と検出 合成高分子化合物の性質と応用	高分子化合物の性質を踏まえ、日常生活での用途について自分の言葉で説明しようとする。〔態〕 有機化合物の性質を発展させ、高分子化合物における化学藩王や量的関係を考察できる。〔思〕	
12	12	総合問題演習	各分野の融合問題	これまでに得た知識を総合的に活用し、化学反応について化学反応式を表した上で、言語化することができる。〔思〕 与えられた情報を的確に処理し、物質の性質も踏まえた上で化学反応の量的関係を考察できる。〔思〕 物質の性質を踏まえ、起こりうる反応と起こりえない反応を判断し、提示された物質の化学反応を複数にわたって予想することができる。〔思〕	
1	8	総合問題演習			

教科名	国語	講座名	創作国語（3年次）	履修区分	合同
科目名	創作国語			単位数	1
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を各科目の目標が示すとおり育成することを目指す。				
科目の目標	(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。【知】 (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思】 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【態】				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	・ 単元毎の学習内容の復習テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【思】	思考・判断・表現	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・ 単元毎の学習内容の復習テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・ 学習への取り組み方の観察 ・ リフレクションカードの点検

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	言葉でスケッチ～一言で心をつかもう	・写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考え、読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。 ・ものの魅力を伝える言葉を探し、語彙を豊かにし、読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。	・読み手の共感が得られる言葉や表現を工夫してものの魅力を伝える文章の効果について理解している。【知】 ・写真やイラストのおもしろさをとらえて、それを表現するためのさまざまな表現方法を用いたキャプションを考え、見る人の心を大いにつかむ作品を作っている。また、自分の伝えたいことや読み手に感じてもらいたいことは何かについて明確にした上で、「自分の好きな○○」を設定し、魅力を伝えるのに適切な語句を用いた紹介文を書いている。【思】 ・相互評価を通して、言葉や表現の可能性の広がり気づき、自分の表現に生かそうとしている。【態】	④⑦⑧
5	3				④⑦⑧
6	4	様々な種類の作品を鑑賞し、川柳と俳句を創作してみよう。	・俳諧、近代現代俳句、川柳等、同じ語数を取る他ジャンルも含めた作品をこのような決まりの枝分かれとそれぞれの特徴に注目して鑑賞し、作品や作者そのものに関する知識、その決まりや修辞、技法について学習する。 ・俳句の創作を行う。	・川柳や俳句の形式や特徴をしっかりと把握し、自分の思いを訴えかけ読み手に驚きや共感を与える川柳の魅力について、よく理解している。【知】 ・俳句や川柳を中心とした多くの作品に接してその魅力を深く感じ取り、自分自身も積極的に川柳の創作に取り組んで、人を驚かせ、共感させる作品を作っている。【思】 ・作品やその形式に関心し意欲的に味わい、自分でも多くの作品を作ろうとしている。【態】	④⑦⑧⑨
7	3				
8	2	自分の思いを独自の切り口で言葉にしてエッセイを書こう	・不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く。 ・既存の作品も参考にしながら、構成や表現を工夫して書く。	・エッセイという形式についてよく知り、自分の思いを読み手に訴えかけ、わかりやすく伝える文章の種類や特徴などについて、しっかりと理解している。【知】 ・エッセイを読んでその魅力を感じ取り、自分自身も積極的にエッセイ執筆に取り組んで、読む人の心をつかむ作品を書いている。【態】 ・エッセイに関心をもち、さまざまな内容のエッセイを書こうとしている。【態】	④⑦⑧
9	3				
10	2	小説の構造に着目してショートショートを創作しよう	・長編から短編、ショートショートまで、作品全体のサイズと主題、取られる表現方法の違いに注目して鑑賞し、作品や作者、技法について学習する。 ・短編及びショートショートの創作	・ショートショートとは何かをよく把握し、描こうとする世界を読み手にわかりやすく伝え、おもしろさを効果的に表現する文章の構成や特徴などについて、しっかりと理解している。【知】 ・ショートショートを読んでその魅力を感じ取り、自分自身も積極的にショートショート執筆に取り組んで、読む人の心をつかむ作品を書いている。【思】 ・ショートショートに関心をもち、さまざまな内容のショートショートを書こうとしている。【態】	④⑦⑧⑨
11	3				
12	4				
1	2	これまでの学習で得たことを生かして短歌を創作し、歌集を作ろう。	・古典、近現代を貫く和歌、短歌の作品を時代の変遷と主題や技法の変化に注目して鑑賞し、作品や作者そのものに関する知識、その決まりや修辞、技法を学習する。 ・短歌の創作を行う。	・短歌の形式や表現技法を正しく理解している。【知】 ・短歌の形式や特徴的な表現による魅力を感じ取り、自分自身も積極的に短歌創作に取り組んでいる。【思】 ・これまでの活動で学んだ創作のノウハウを積極的に活用し短歌の創作に生かそうとしている。【態】	④⑦⑧

教科名	公民	講座名	時事問題研究	履修区分	合同選択
科目名	時事問題研究			単位数	1
教科の目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	(1) 時事問題を通して現代社会に生きる私たちの諸課題を考察することにより、物事を多角的・多面的に読み解く力を身に付ける。 (2) 現代社会の諸課題を主体的に考え、かつ公平・公正に判断する能力とともに、問題解決能力を身に付けることで、良識ある公民としての資質と態度を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	・ワークシート、レポート、リフレクションシート等の課題の成果物評価 ・プレゼンテーションの内容評価 ・ポートフォリオ評価 ・ループリック評価
【思】	思考・判断・表現	政治や経済に関する概念・理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	・ワークシート、レポート、リフレクションシート等の課題の成果物評価 ・プレゼンテーションの内容評価 ・ポートフォリオ評価 ・ループリック評価
【態】	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・ワークシート、レポート、リフレクションシート等の課題の提出状況 ・プレゼンテーションの発表状況 ・ポートフォリオ評価 ・ループリック評価 ・授業の取り組み

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	準備と動機付け	オリエンテーション 事前情報収集 ビジョンとゴール設定 仮説設定	①課題を解決するために必要な知識や技能を主体的に習得し、課題解決に活用することができている。【知】 ②課題解決について論理的・多角的に考え、答えを導きだすことができている。【思】 ③課題の学問的・社会的価値を見出そうとしている。【主】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩
5	3	計画設定	事前情報収集 現状と課題 計画設定		
6	4	情報収集	情報収集（ICT・文献・FW・アンケート） 知識の関連づけ、概念化		
7	3	中間発表	現状と課題の共有		
8	2	整理分析	情報収集（ICT・文献・FW・アンケート）		
9	3	最終発表 報告書作成	フィードバック 仮説検証・まとめ		
10	4	政治・経済分野	1 私たちの政治と選挙 2 日本国憲法の行方は 3 象徴天皇制 4 主な国々との外交	①日本の統治機構のしくみを理解し、実際の政治の動きや課題と関連付け、さまざまなメディアから情報を収集し、考察することができたか。【知】 ②現代の経済における基本的なしくみを理解し、現代の経済社会における個人、企業、政府の活動についてさまざまなメディアから情報を収集し、考察することができたか。【思】 ③課題の学問的・社会的価値を見出そうとしている。【主】	①④⑤⑩
11	3		5 超高齢社会の地方 6 景気は回復しているか 7 変わる日本の産業・貿易		
12	3		8 これからのエネルギー 9 人口減少 10 社会保障の将来		
1	2	暮らし・社会 ・環境分野	11 働くということ 12 違いを認め合って	①情報社会や生命倫理など、今日的な諸問題について、さまざまなメディアから情報を収集し、考察することができたか。【知・技】 ②暮らしや社会、環境に関する基本的なしくみを理解し、その動向や諸問題に関するさまざまな資料を収集し、考察することができたか。【思】 ③課題の学問的・社会的価値を見出そうとしている。【主】	①⑤⑨⑩
2	3		13 司法と市民生活 14 情報社会に生きる 15 いのちを考える		
3	2		16 自然災害と原発事故 17 地球温暖化対策		②④⑦⑧

教科名	数学	講座名	数学に親しむ（３年次）	履修区分	合同選択
科目名	数学に親しむ			単位数	1
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、自称を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学の良さを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	数学に関する様々なテーマについて、遊びと学びを区別しないで楽しみ、実際に体験することで自分の考えを持ち、さらに発展させることを目指す。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・数学における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。	・定期考査 ・レポートへの取り組み
【思】	思考・判断・表現	・数学という言葉を用いて、自身の考え方を他者に伝えようとしているか。 ・図や表を用いて考えようとしているか。	・定期考査 ・レポートへの取り組み ・発表
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・数学の論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	・レポートへの取り組み、考察

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	マテックス	ゲームの中でルールを理解し、勝ちを目指す中で先読みの深さを学びます。	・ルールを理解し、戦略を立てる中で、自分の状況だけではなく、相手のパターンまで考慮し戦略を練ることができる。【思】 ・自ら積極的に対戦相手を探し、ゲームを振り返り、次につなげることができる。【態】	③⑨
5	3				
6	4	数取り	身近なゲームの必勝法を考えたり、新たなルールを創造します。	・ルールを理解し、戦略を立てる中で、自分の状況だけではなく、相手のパターンまで考慮し戦略を練ることができる。【知】 ・全体のバランスを考慮し、新たなルールを作り出すことができる。【思】	⑦⑨
7	3				
8	2	トランプゲーム	ゲームを通して、論理的な思考と推理力を学びます。	・ルールを理解し、戦略を立てる中で、自分の状況だけではなく、相手のパターンまで考慮し戦略を練ることができる。【知】 ・自ら積極的に対戦相手を探し、ゲームを振り返り、次につなげることができる。【態】	⑦⑨
9	3				
10	4	一刀切り	直線で囲まれた図形の描かれた紙から、図形を切り抜きます。その方法を考える活動を通して、図形の持つ性質に迫ります。	・ルールを理解し、戦略を立てることができる。【思】 ・試行錯誤を繰り返し、解決にたどり着くことができる。【知】	③⑦
11	3				
12	3	図形の面積	既習内容を用いて、複雑な形の面積を求めます。	・過去に学習した図形の面積を活用し、複雑な形の面積を計算する。【知】 ・試行錯誤を繰り返し、解決にたどり着くことができる。【知】	④⑨
1	2				

教科名	理科	講座名	理科に親しむ	履修区分	合同
科目名	理科に親しむ			単位数	1
教科の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。□				
科目の目標	高校生の視点から身近な自然現象における、様々な法則による因果関係から関連付けや理由付けを行い、因果関係から身近な自然現象を計画的に予想する。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	身近な自然現象は、様々な法則によって因果関係が成立し、観察・実験において様々な法則から自然現象の結果を予想している。	・ポートフォリオ評価 ・成果物評価
【思】	思考・判断・表現	身近な自然現象について、関連付けや理由付けながら結果を見通し、まとめている。	・ポートフォリオ評価 ・成果物評価
【態】	主体的に学習に取り組む態度	身近な自然現象について、諦めずに挑戦し、身近な自然現象を読み取ろうとしている。	・ポートフォリオ評価 ・成果物評価

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	オリエンテーション	オリエンテーション	【主】身近な自然現象について、積極的に興味を持ち、身近な自然現象を読み取ろうとしている。	①②
5	3	課題発見	新ひだか町・静内高校敷地内のフィールドワークにより課題を発見する。	【思】身近な自然現象について、理由付けながら結果を見通している。	②③⑤
6	4		活動計画を立案する。	【主】身近な自然現象について、計画した上で活動を行っている。	
7	3	情報収集 実践活動	課題解決に向けた情報収集と調査・実験を通して自然現象を科学的に調査する。	【知】身近な自然現象は自然法則により結果を予想できると理解している。	②⑦⑧⑨
8	2			【主】身近な自然現象について、計画した上で活動を行っている。	
9	3	分析と課題の再考	情報を整理し、課題が適切かどうか学習計画を自ら振り返る。	【思】活動計画について、課題解決に向けて協力しながら活動を振り返っている。	①⑥⑩
10	4	中間報告	現状と成果発表までの見通しを報告する。	【思】身近な自然現象について、自然法則との因果関係を明らかにしながら、まとめている。	⑧⑩
11	3	成果のまとめ	調査不足の部分を分析する。	【思】身近な自然現象について、関連付けや理由付けながら結果を見通し、まとめている。	⑥⑧⑨
12	3	成果発表	身近な自然現象について科学的に探究した内容を報告する。	【知】身近な自然現象は、様々な法則によって因果関係が成立し、観察・実験において様々な法則から自然現象の結果を予想している。	④⑥⑧⑨
1	2	報告書作成	年間の報告書を作成する。	【思】身近な自然現象について、諦めずに挑戦し、身近な自然現象を読み取ろうとしている。	④⑧
2	3	身近な科学	自らの興味関心に応じた自然現象を選択して実験を行い、報告書を作成する。	【知】自然法則は身近な自然現象を読み取るために活用でき、実社会で役立つことを理解している。	④⑦⑨
3	2			【思】自然法則について、実社会で活用される場面を想定しながら、報告書を作成している。	

教科名	芸術	講座名	器楽基礎	履修区分	合同
科目名	音楽			単位数	1
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	楽器演奏の基礎的な能力の習得、演奏活動に積極的に取り組もうという態度の育成				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	実技（歌唱、器楽演奏・アンサンブル等） 鑑賞 ペーパーテスト
【思】	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	実技（歌唱、器楽演奏・アンサンブル等） 鑑賞
【態】	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業態度、課題提出状況、忘れ物状況

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	オリエンテーション 楽譜の理解と演奏	器楽基礎について 読譜練習	・ 楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱や器楽の特徴に関心をもち、表現意図をもって創造的に演奏したり、表現上の効果を生かして演奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。 【態】 ・ グループで合奏することに関心をもち、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、主体的に取り組もうとしている。 【態】 ・ 楽器の音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、音色や奏法の特徴を生かした演奏方法を工夫し、どのように演奏するか表現意図をもっている。 【知】 【思】 ・ 楽器の音色や特徴を生かした音楽表現をするために、必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。 【知】 【思】 ・ 楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に音楽表現をしたり、表現上の効果を生かした音楽表現をしたりするために必要な読譜などの技能を身に付け、創造的に表している。 【知】 【思】 ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、構造上の特徴と美しさのかかわり、音楽とストーリーのかかわりを理解し、楽曲を解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 【知】 【思】	
5	3	楽譜の理解と演奏 器楽鑑賞	読譜練習 器楽（独奏・アンサンブル）鑑賞		
6	4				
7	3				
8	2	器楽鑑賞	器楽（独奏・アンサンブル）鑑賞		①②③④⑥ ⑦⑧⑨⑩
9	3				
10	4				
11	3				
12	3				
1	2				

教科名	芸術	講座名	絵画入門	履修区分	合同
科目名	絵画入門			単位数	1
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、主題を生成し発想や構想を練りながら、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	提出作品
【思】	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	構想シート アイディアスケッチ
【態】	主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関り主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	創作活動等に対する取り組む姿勢 課題の提出状況 鑑賞シート

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	【絵画】 鉛筆デッサン	デッサンの基本 材質や質感に注目し、 紙コップの描写をする。	形や光、陰影、質感、造形的な特徴を基 に用具の特性を活かしながら構成などにつ いて考え、表現方法を創意工夫し、制 作しようとしている。 【知】【思】【態】	③④⑦
5	3				
6	4				
7	3				
8	2	【デザイン】 自然物による 平面構成	自然物をひとつ選択し、配色 を考えながらアクリル絵の具 で平面構成を行う。	素材や配置の変化、色を与える印象の違 いから全体のイメージや作風などを理解 し、与えられた条件を基に表現形式の特 性を生かし、形体や色彩、構成などにつ いて考え、創造的な表現の構想を練って 制作しようとしている。【知】【思】 【態】	③④⑦
9	3				
10	4				
11	3	【絵画】 グリザイユ	黒と白のアクリル絵の具を使 い、写真をもとにモノクロ陰 影による立体表現をする。	モノクロ段階分けによる立体表現をする ことによって全体のイメージや作風、様 式などを捉えることを理解し、元絵を基 に形態や色彩、構成などについて考えな がら、制作しようとしている。 【知】【思】【態】	③④⑦
12	3				
1	2				

教科名	芸術	講座名	漢字かな交じりの書	履修区分	合同選択
科目名	漢字かな交じりの書			単位数	1
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	さまざまな古典を学習し、運筆法や用筆法を身につけ、漢字仮名交じりの書をとおして自己を表現する能力を身につける。また、表現の方法や形式、多様性についての理解を深め、創造的に構想し個性豊かに表現する能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深め、豊かな情操、自己肯定力を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・ 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・ 書の伝統に基づき、効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	○ワークシートの記述状況 ○活動の様子（意見交流における発言等） ○作品
【思】	思考・判断・表現	・ 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えている。	○ワークシートの記述状況 ○活動の様子（意見交流における発言等） ○作品
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・ 書の伝統と文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	○ワークシートの記述状況 ○活動の様子（作品制作、鑑賞の取り組み状況）

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	現代に生きる書	[漢字仮名交じり書の鑑賞]	・名筆の鑑賞をとおして表現の特徴を理解し、書への関心や書のもつ美しさを感じようとしている。【知】【思】	②⑦⑨
5	3	字形と線質	[古典の臨書を生かした創作] ・筆の弾力を生かした軽快な線質 ・力強く角ばった線質 ・重厚で粘りのある線質	・古典の特徴を理解し、表現しようとしている。【知】【態】 ・線質による作品の雰囲気の違いと効果を理解し、その技能を身に付け表している。また、自己の制作に生かすことができる。【知】【思】 ・課題文を制作意図に基づき、線質を工夫して表現することができる。【思】【態】	②③④⑨
6	4				
7	3	作品構成	[様々な構成、表現方法を学ぶ] ・行間、余白を考える ・題材に合う効果的な構成を学ぶ ・文字の大小 ・墨の濃淡、墨料の変化	・紙面構成や余白の生かし方について理解し、表現しようとしている。【知】【態】 ・様々な構成法とその効果について理解し、全体構成を考えた表現の技能を身に付け表している。【知】【思】 ・課題文を制作意図に基づき、文字の大小、墨の濃淡、墨料の変化を工夫して表現することができる。【思】【態】	①②③④ ⑦⑧⑨
8	2				
9	3	自己の表現を求めて①	[自らの制作意図に基づいて作品を制作する①] ・題材。表現を考える ・文字の配置、構成を考える ・用具用材、形式を工夫する	・制作意図に基づき、字形と線質、作品構成を工夫して表現をしようとしている。【態】 ・他の生徒の作品のよさを見出し、自らの作品に生かそうとしている。【知】【態】 ・自ら題材を選び、その言葉への思いを深め、制作意図に基づき、適切に字形、線質、全体構成を工夫して表現している【思】【態】 ・半紙、色紙、半切など様々な形式に応じて表現を工夫している。【思】 ・表現を工夫しながら、郷土を素材とした作品を書き上げることができる。【思】	①②③④ ⑤⑦⑧⑩
10	4				
11	3	自己の表現を求めて②	[自らの制作意図に基づいて作品を制作する②] ・料紙を作って作品制作する	・制作意図に基づいて料紙を作り、その料紙に作品を制作する中で、主体的に表現しようとしている。【知】【思】 ・他の生徒の作品のよさを見出し、自らの作品に生かそうとしている。【思】 ・これまでの学習を生かして、感性を働かせ、創造的な書表現を行っている。【思】【態】	①②③④ ⑤⑦⑧⑨
12	3				
1	2				

教科名	保健体育	講座名	トレーニング	履修区分	合同選択
科目名	トレーニング			単位数	1
教科の目標	専門的に体力を高める意義・方法を学び、効率よく運動ができる資質や能力を育てる。トレーニングの実践を通じ心身ともに自らを鍛え、自他の安全に配慮して行動する態度を身につける。				
備考	【履修条件】 2年次で「トレーニング」を履修した生徒は不可。 日常的に運動を実践しており、男子は1500m走を6分以内で、女子は1000m走を5分以内で走りきれぬ生徒に限る。				
科目の目標	・各種のトレーニングの基礎・基本技術を身につける。 ・主体的にトレーニングに取り組む資質を身につける。 ・仲間と協力して活動を行い、安全に配慮して行動する態度を身につける。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【人】	主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の中で、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を持つ。健康・安全を確保して運動に取り組んでいる。	出席状況 学習状況 服装
【思】	思考力・判断力・表現力	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、その解決に向けて深く考え判断している。また、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	学習状況 課題レポート 技能テスト
【知技】	知識・技能	合理的、計画的な運動の方法や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	学習状況 課題レポート 技能テスト

●留意点

・個人および集団の安全を守るために授業規律を守ること。 ・指定された服装で授業を受けること。 ・授業中に体調が悪くなった場合、速やかに担当教諭に報告し指示を仰ぐこと。 ・入念に準備運動・整理運動を行い、学習環境・施設・道具の安全確認をするなど、常に安全に配慮して授業に取り組むこと。 ・授業中に激しいトレーニングを行っても積極的に取り組むことのできる生徒に限る。

●学習計画

月	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4 5 6	持久系 トレーニング	持久系トレーニングの基礎を学び、積極的にトレーニング取り組む態度を身につける。	・持久系のトレーニングに自主的に取り組もうとしている	①⑥
7 8 9	スピード系 トレーニング	瞬発力系の運動や無酸素系のトレーニングの基礎を学び、安全にトレーニングに取り組む態度を身につける。	・瞬発力系のトレーニングに自主的に取り組もうとしている ・健康・安全を確保するために適切な練習方法を選んでいる	⑥⑦⑨
10 11 12	筋力系 トレーニング	フリーウェイトや自体重を使った筋力系のトレーニングの基礎を学び、安全にトレーニングに取り組む態度を身につける。	・筋力系のトレーニングに自主的に取り組もうとしている ・健康・安全を確保するために適切な練習方法を選んでいる	②⑦⑨
1	総合的 トレーニング	各種目の特性を生かしたトレーニング計画を立てたり、目的に応じたトレーニングを計画し、実践することができるようにする。	・ねらいや体力の程度に応じて、適切な運動の種類、強度、量、頻度を設定している ・運動の原則があることについて、理解したことを言ったり書き出したりしている	②③⑨

教科名	情報	講座名	情報活用	履修区分	合同
科目名	情報活用			単位数	1
教科の目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。				
科目の目標	1年次の「情報科」で学習した内容の理解を深めるとともに、アプリケーションソフトの効果的な利用方法や利用技術の能力を身につける。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	ソフトウェアを効果的に利用する知識を身につけているか。	・実習成果物 ・実技テスト
【思】	思考・判断・表現	ソフトウェアを正しく操作し、表現方法を工夫しているか。	・実習成果物
【態】	主体的に学習に取り組む態度	効果的なソフトウェアの使用方法を考えようとしているか。	・授業態度 ・取組状況 ・実習成果物

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	基礎編	・使用するソフトの到達目標を設定する。 ・入力例や完成例を参照しながら、手順に沿って問題を完成させる。	・教え合いへの参加状況【関】 ・実技テスト【技】	④⑧
5	3				
6	4				
7	3	応用編	・文章から求められている指示を読み取り、必要な作業を自分で考え、問題を完成させる。	・教え合いへの参加状況【関】 ・実技テスト【技】 ・実習成果物【知】	④⑦⑧
8	2				
9	3				
10	4	探究編	・日常生活に役に立つ成果物を情報機器を活用して創造する。	・グループ活動へ参加状況【関】 ・成果物に適したソフトウェアを選択している【思】 ・成果物に便利な工夫がある【技】 ・明瞭に成果物を説明することができる【知】	②③④⑦⑧⑨
11	3				
12	3				
1	2				
2	3				
3	2				

教科名	家庭科	講座名	福祉コミュニケーション	履修区分	合同選択
科目名	福祉コミュニケーション			単位数	1
教科の目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ②生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
科目の目標	福祉についての基本的な知識や技術を学ぶとともに、面接や人とのかかわりの中で必要となるコミュニケーション能力を習得し、ファシリテーターとして会議・授業・面談などの場のデザインを構成することができる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	レポート 定期考査 演習
【思】	思考・判断・表現	生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	定期考査 レポート 演習
【態】	主体的に学習に取り組む態度	生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	授業の取り組み ワークシート レポート

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	コミュニケーション・プロセス	演習「流れ星」 「流れ星」の振り返りとディスカッション	・コミュニケーション・プロセスに関心を持ちながら学習に取り組んでいる。【態】 ・コミュニケーション・プロセスについて考え、まとめたり、発表したりしている。【思】	①②③④⑥ ⑦⑧⑨
5	3		演習「一方通行・双方通行」 小講義「効果的なコミュニケーション」	・コミュニケーション・プロセスを意識しながら演習に取り組んでいる。【知】 ・コミュニケーション・プロセスについて理解している。【知】	
6	4		演習「インタビュー」 小講義「抽象的・具体的な言葉」		
7	3	ガイドヘルプ	演習「アイマスク体験」 小講義「視覚障がい者の介助」	・ガイドヘルプに関心を持ちながら演習に参加している。【態】 ・利用者の安全を考えながら、ガイドヘルプを実践できる。【思】【知】 ・ガイドヘルプに関する基本的な知識を理解して	①②④⑤⑥ ⑧⑩
8	2	言語障がい	小講義「言語障がいの対応」 小講義「介護の心構え」	・言語障がいに関心を持ちながら学習活動に取り組んでいる。【関】 ・言語障がいに対応について考え、まとめたり、発表したりしている。【思】 ・言語障がいやその対応について理解している。	①②④⑤⑥ ⑧⑩
9	3	コミュニケーションの基礎	【前期期末考査】 演習「第一印象」「心の4つの窓」 小講義「ジョハリの窓」	・コミュニケーションの基礎的な知識や技術に関心を持ちながら学習活動に取り組んでいる。【態】 ・コミュニケーションの基礎について考え、まとめたり、発表したりしている。【思】 ・コミュニケーションの基礎的な技術を身に付けている。【知】	①②③④⑥ ⑦⑧⑨
10	4		演習「見る・聞く・話す」 演習「あなたがおっしゃったことは」 小講義「話す時と聞く時のポイント」	・コミュニケーションの基礎的な知識を理解している。【知】	
11	3	コミュニケーションの応用	演習「匠の里」 小講義「リーダーシップ」	・リーダーシップの機能やコンセンサスに関心を持ちながら学習活動に取り組んでいる。【態】 ・リーダーシップの機能やコンセンサスについて考え、まとめたり、発表したりしている。【思】 ・リーダーシップの機能やコンセンサスに関する基礎的な技術を身に付けている。【知】 ・リーダーシップの機能やコンセンサスに関する基礎的な知識を理解している。【知】	①②③④⑥ ⑦⑧⑨
12	3		演習「道職のグループワーク」 小講義「T機能・M機能」		
1	2		演習「新説桃太郎」 小講義「コンセンサスを得るための注意点」		
2	3		演習「私のダイヤモンド」 小講義「会議を有効に進めるには」		
3	2		演習「集団面接」 小講義「面接の受け答えのコツ」	・実際の面接試験を想定して、面接の受け答え方を考え、まとめたり、発表したりできる。【思】 ・模擬面接で正しい礼法で自己アピールできる。【知】	